

令和7年度取組実施状況・進捗状況集計表

資料-4

具体的な取組の柱		主な内容	目標時期	実施する機関																							
				土浦市	石岡市	龍ヶ崎市	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	かずみがうら市	神栖市	行方市	銚田市	小美玉市	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	稲敷市地方広域市町村圏事務組合	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道機	日本貨物	鹿島臨海	関東地整
事項	具体的な取組																										
1. ハード対策の主な取組																											
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																											
	①優先的に実施する堤防整備	・無堤区間、堤防断面不足区間	H28年度から順次実施																								○
	②優先的に実施する波浪対策	・波浪対策対象区間	H28年度から順次実施																								○
	③危機管理型ハード対策	・高齢者が特に多い地域等において、危機管理型ハード対策等を概成	順次実施																								●
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																											
	①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	引き続き実施																								○
	②防災無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から順次実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○										
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	H28年度から順次実施	×	●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●											×
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水位計(危機管理型水位計含む)や量水標、CCTVカメラ(監視用カメラ含む)等の設置 ・POTIKAの設置	H28年度から順次実施	○	●	○	△	×	●	●	△	●	●	○	△	×	●										○
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	H28年度から順次実施	●		●																					×
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・移動式ポンプの増設等 ・消防車両ポンプの転用	H28年度から順次実施	●	△	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	△	●									○
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・沿川の地方公共団体や民間事業者等との情報交換を十分に行い、高規格堤防の整備との共同事業を積極的に地方公共団体や民間事業者等に提案する取組を実施し、新規着工に向けた調整・検討。	順次実施	●	△		×	○	△	×	●	△	△	●	△	○	△	△									×
	⑧河川防災ステーションの整備	・協議会等の場を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市町村等の円滑な水防活動等、活用方を検討・調整。	順次実施																								○
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつなぐ重要な通信中継施設の停電対策、通信機器の整備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の増強等を実施。	順次実施	●	△	●	●	○	△	●	●	△	△	●	△	○											×
2. ソフト対策の主な取組																											
① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																											
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																											
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	H28年度から実施 H29年度(県)																								●
	②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	H28年度から順次実施																								○
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	H28年度から順次実施	△	△	●	△	●	△	△	●	●	○	■	●	●	○										○
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から実施	●	●	●	●	△	○	●	●	●	○	■	●	●	○										○
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う	H28年度から実施	△	△	●	○	●	○	○	○	△	●	△	○	○	○										
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	H28年度から実施	△	△	●	●	○	△	●	●	○	●	●	○	○	○										○
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																											
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	H28年度から順次実施	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	○										○
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成を促進する	H28年度から順次実施	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	○											×
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成を促進する	H28年度から順次実施	●	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	○											○
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・トップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・実践的な訓練の実施	H28年度から定期的に順次実施	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	△	●	○	△									○
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度出水期から																								○
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認。洪水対応訓練や避難訓練等を実施し、明らかになった課題等を通してタイムラインを検証し、必要に応じて改定	H28年度から実施																								●

●:実施済、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取組を継続、×:実施していない、■:対象外、赤着色:前年からの変化

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	関東地方整備局							気象庁										
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																				
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																				
	①優先的に実施する堤防整備	・無堤区間 ・堤防断面不足区間			・R4北浦右岸釜谷地区整備他工事(堤防)0.03km	○	・R5西浦右岸青宿地区整備工事0.06km	○	・R6西浦右岸青宿地区整備外工事0.04km ・R6西浦右岸青宿地区護岸整備工事(護岸0.05km実施)	○										
	②優先的に実施する波浪対策	・波浪対策対象区間(約14km)			・R4外浪逆浦左岸下幅木地区波浪対策護岸工事(波浪対策1.2km実施)	○	・R4外浪逆浦左岸地区波浪対策護岸工事(波浪対策1.0km実施)	○	・波浪外力、波浪算定手法、事業評価方法を検討	○										
	③危機管理型ハード対策	・危機管理型ハード対策等			・実施済	●	・実施済	●	・実施済	●										
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
	①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備を実施していく			・水文観測機器の更新、水文データの照査・水文水質DB登録	○	・水文データの照査・水文水質DB登録	○	・水文観測機器の更新、水文データの照査・水文水質DB登録	○										
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																			
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備			実施なし	×	実施なし	×	実施なし	×										
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・量水標、カメラの設置	・H28年度	・R7年度	・CCTVカメラ更新(10台)	○	—	○	・CCTVカメラ更新(10台)	○										
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・自家発電装置等の耐水化			・前川排水施設耐水化実施済	○	・前川排水施設耐水化実施済	○	・前川排水施設耐水化実施済	○										
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・移動式ポンプの増設等	・H28年度	・R7年度	・R5.6に3市5地区に排水ポンプ車を派遣	○	・排水ポンプ車を準備	○	・排水ポンプ車を準備 ・国、自治体、請負者にて現地調査を実施	○										
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水設備の実施	・重要施設の雨水排水設備の実施	・R3年度	・R7年度	・前川排水施設ポンプ設備整備工事	●	・実施済	●	・実施済	●										
	⑧河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーションの整備を進める			・防災ステーションなどの施設配置計画の検討を実施	○	・防災ステーションなどの施設配置計画の検討を実施	○	・防災ステーションなどの施設配置計画の検討を実施	○										
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度	・R7年度	・実施なし	×	・ネットワーク設備の増強(2箇所)	●	・実施なし	×										
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・H28年度	・H28年度	・H28.8.18想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	●	・H28.8.18想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	●	・H28.8.18想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	●										
	②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	・H28年度	・H30年度	・氾濫シミュレーションの公表	●	・氾濫シミュレーションの公表	●	・氾濫シミュレーションの公表	●										
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・H28年度	・R7年度	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・作成に必要な情報の提供および策定を支援	・H28年度	・R7年度	・令和5年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	・令和6年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	×	・令和7年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	×		
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・H28年度 ・H28年度	・R7年度	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○										
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																			
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・H28年度	・R7年度	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・H28.8浸水想定区域図の提供	○	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・R7年度	・令和5年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	・令和6年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	×	・令和7年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	×		
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																				
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供	・H28年度	・R7年度	・氾濫シミュレーションの検討	○	・氾濫シミュレーションの検討	○	・氾濫シミュレーションの検討	○	・関東地方整備局、県、市町村と協同し、策定を支援	・H28年度	・R7年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子)	・市町村からの個別の相談に対応し助言等を行った(水戸) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(銚子)	○ △	・市町村からの個別の相談に対応し助言等を行った(水戸) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(銚子)	○ △		
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・都度、③に含まれるため個別では行っていないもの	■	・都度、③に含まれるため個別では行っていないもの	■	・都度、③に含まれるため個別では行っていないもの	■	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(銚子) ・現時点において支援作業は生じていない。(水戸・銚子)	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・現時点において支援作業は生じていない。(水戸・銚子)	△	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(銚子) ・現時点において支援作業は生じていない(水戸・銚子)	△		
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・土浦市新治地区公民館(ファミリーテータ育成の一環)にて実施 ・潮来市立潮来小学校(一般参加)にて実施	○	・神栖市立波崎第三中学校(一般参加)にて実施 ・稲敷市立江戸崎中央公民館大集會室(一般参加)にて実施	○	・潮来市牛堀小学校にて実施 ・潮来市日の出小学校にて実施	○			・令和5年度の参加実績なし(銚子)	・令和6年度の参加実績なし(水戸・銚子)	×	・令和7年度の参加実績なし(水戸・銚子)	×			
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・トップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加	・H28年度 ・H28年度	・R7年度	—	○	・潮来市立津知小学校グラウンドにて潮来市総合防災訓練 ・神栖市立波崎第三中学校にて神栖市総合防災訓練(洪水)	○	・潮来市延方小学校グラウンドにて潮来市総合防災訓練	○	・自治体訓練への参加や支援	・H28年度	・R7年度	・自治体が発する訓練に参画した(水戸) ・令和6年度の参加実績なし(銚子)	・自治体が発する訓練に参画した(水戸) ・令和6年度の参加実績なし(銚子)	○ ×	・自治体が発する訓練に参画した(水戸) ・令和7年度の参加実績なし(銚子)	○ ×		
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善										・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 【H28年度 防災関係機関を対象に試行】(H29年度出水期～)	・H28年度	・R7年度	・顕著な大雨に関する気象情報を最大30分前に前倒しして発表するように運用を改善(水戸・銚子) ・大雨特別警報(浸水害)の指標改善(銚子)	・線状降水帯による大雨の呼びかけを府県単位で提供するように運用を改善(水戸・銚子) ・大雨特別警報(浸水害)の指標改善(銚子)	○	・新たな防災情報の運用開始に向け、自治体や報道機関への説明を行い、普及に向けた協力を依頼するなど準備を行った。(水戸・銚子) ・各種情報について講演会等で普及啓発をおこなった(銚子)	○		
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	・ホットラインの実施体制を確認。 ・洪水対応訓練や避難訓練等の実施 ・タイムラインへの反映	・R3年度	・R7年度	・ホットラインの実施体制を確認。 ・Webを活用したホットライン運用方針の作成 ・洪水対応訓練時にWebを使ったホットラインの実施	●	・Webを活用したホットライン運用方針の作成 ・洪水対応訓練時にWebを使ったホットラインの実施	●	・Webを活用したホットライン運用方針の作成 ・洪水対応訓練時にWebを使ったホットラインの実施	●										

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	関東地方整備局								気象庁															
			実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況				
			着手	完了	着手	完了							着手	完了												
(3)防災教育や防災知識の普及																										
	1水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置		・問い合わせ窓口を設置する		・H28年度	・R7年度	○	・「災害情報普及支援室」を設置、HPIに掲載済み	●	・「災害情報普及支援室」を設置、HPIに掲載済み	●	・「災害情報普及支援室」を設置、HPIに掲載済み	●	・問い合わせ窓口の対応へのサポート		・H28年度	・R7年度	○	・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポートは生じていない(水戸・鉈子)	●	・問い合わせ窓口を設置し随時対応している(水戸・鉈子)	●	・問い合わせ窓口を設置し随時対応している(水戸・鉈子)	●		
	2水防災に関する説明会の開催・広報の実施		・市町村の要請により出前講座等を積極的に進めていく		・H28年度	・R7年度	○	・土浦市新治地区公民館(ファンリテータ育成の一環)にて実施 ・潮来市立潮来小学校(一般参加)にて実施	○	・神栖市立波崎第三中学校(一般参加)にて実施 ・稲敷市立江戸崎中央公民館大集會室(一般参加)にて実施	○	・「かすみがうらマラソン」で防災アニメーションの実施 ・稲敷市西ノ洲現場見学会(牛堀中学校)にて防災に関する出前講座を実施	○	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する		・H28年度	・R7年度	○	・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、リモート会議システムを併用した台風説明会を開催し、県内全市町村及び関係機関に注意、警戒を呼びかけている(水戸・鉈子) ・市町村防災担当者を対象に防災気象ワークショップをリモート開催(水戸・鉈子)	●	・関係機関と連携した防災対応を行うため、毎年出水期前に防災気象連絡会議を開催(水戸) ・茨城県、茨城県市長会、茨城県町村会、気象台の共催により災害対応講習会を実施(水戸) ・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、リモート会議システムを併用した台風説明会を開催し、県内全市町村及び関係機関に注意、警戒を呼びかけている(鉈子) ・市町村防災担当者を対象に防災気象ワークショップをリモート開催(鉈子) ・第72回利根川水系連合・総合水防演習会参加(鉈子)	●	・関係機関と連携した防災対応を行うため、出水期前に茨城防災気象連絡会議を開催(水戸) ・茨城県、茨城県市長会、茨城県町村会、気象台の共催により災害対応講習会を実施(水戸) ・各種協議会や自治体と連携して行う研修、避難訓練等の中で講話や講演を行い普及啓発を行った(水戸) ・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項について、リモート会議システムを併用した台風説明会を開催し、県内全市町村及び関係機関に注意、警戒を呼びかけている(鉈子・水戸) ・市町村防災担当者を対象に防災気象ワークショップをリモート開催(鉈子・水戸)	●		
	3教員を対象とした講習会の実施		・市町村の要請により出前講座等を積極的に進めていく		・H28年度	・R7年度	○	—	○	・神栖市立波崎第三中学校(一般参加)にて実施	●	・潮来市立牛堀小学校、日の出小学校にて、防災教育に関する出前講座を実施	○	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する		・H28年度	・R7年度	○	・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災に関する講習会を実施している(水戸・鉈子)	●	・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災に関する講習会を実施している(水戸・鉈子)	●	・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災に関する講習会を実施している(水戸・鉈子)	●		
	4小学生を対象とした防災教育の実施		・市町村の要請により出前講座等を積極的に進めていく		・H28年度	・R7年度	○	・潮来市立潮来小学校(一般参加)にて実施	○	・神栖市立波崎第三中学校(一般参加)にて実施	●	・潮来市立牛堀小学校、日の出小学校にて防災教育に関する出前講座を実施	○	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する		・H28年度	・R7年度	○	・小学校に職員を派遣、防災に関する講演を実施している(水戸・鉈子) ・小学生による気象台の見学を受け入れ、気象や防災に関して説明を行っている(水戸・鉈子)	●	・小学校に職員を派遣、防災に関する講演を実施している(鉈子) ・小学生による気象台の見学を受け入れ、気象や防災に関して説明を行っている(水戸・鉈子)	●	・主に小・中学生を対象としたお天気フェアの開催、自治体主催の各種イベントへの出展、気象台見学の受け入れを通して気象や防災に関する知識の導入を行っている(水戸)	●		
	5出前講座等を活用した講習会の実施		・要請により出前講座等を積極的に進めていく		・H28年度	・R7年度	○	・土浦市新治地区公民館(ファンリテータ育成の一環)にて実施 ・潮来市立潮来小学校(一般参加)にて実施	○	・神栖市立波崎第三中学校(一般参加)にて実施 ・稲敷市立江戸崎中央公民館大集會室(一般参加)にて実施	○	・「かすみがうらマラソン」で防災アニメーションの実施 ・稲敷市西ノ洲現場見学会(牛堀中学校)にて防災に関する出前講座を実施	○	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する		・H28年度	・R7年度	○	・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している(水戸・鉈子) ・対面による講演のほか、リモート会議システムを活用した講演も実施した。(水戸)	●	・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している(水戸・鉈子)	●	・出前講座として講習会を実施している(水戸)	●		
	6ブッシュ型の洪水予報等の情報発信		・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信		・H28年度	・R7年度	○	H28対応済み	●	H28対応済み	●	H28対応済み	●													
	7水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供		・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する		・H28年度	・R7年度	○	・CCTV47箇所、簡易型河川監視カメラ20箇所、水位計23箇所、危機管理型水位計21箇所の情報をリアルタイムで提供している	●	・CCTV47箇所、簡易型河川監視カメラ20箇所、水位計23箇所、危機管理型水位計21箇所の情報をリアルタイムで提供している	●	・CCTV47箇所、簡易型河川監視カメラ20箇所、水位計23箇所、危機管理型水位計21箇所の情報をリアルタイムで提供している	●													
	8許可作業者等への防災教育の実施		・操作規則作成に必要な情報の提供及び支援 ・履行検査における周知		・H28年度	・R7年度	○	・実施に向けた取り組みを継続	○	・実施に向けた取り組みを継続	○	・実施に向けた取り組みを継続	○													

2.ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																									
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																									
	1水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																								
	2水防団同士の連絡体制の確保																								
	3水防団や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検		・重要水防箇所等の共同点検を実施		・H28年度	・R7年度	○	・霞ヶ浦沿川13市町村で共同点検を実施	○	・霞ヶ浦沿川13市町村で共同点検を実施	○	・霞ヶ浦沿川13市町村で共同点検を実施	○	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加していく		・H28年度	・R7年度	○	・令和5年度は参加対応なし(水戸・鉈子)	●	・令和6年度は参加対応なし(水戸・鉈子)	△	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加した(水戸)	○	
	4関係機関が連携した実働水防訓練の実施		・水防管理団体が行う訓練への参加		・H28年度	・R7年度	○	R5潮来市消防団夏季訓練に参加 R5霞ヶ浦地区水防訓練に参加	○	R6潮来市総合防災訓練に参加	○	R7霞ヶ浦地区水防訓練に参加 R7潮来市防災訓練に参加	○	・水防管理団体が行う訓練への参加、支援		・H28年度	・R7年度	○	・令和5年度は参加対応なし(水戸) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習会に参加した(鉈子)	●	・令和6年度は参加対応なし(水戸・鉈子)	△	・令和7年度は参加対応なし(水戸・鉈子)	△	
	5水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進																								
	6地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築		・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構築		・H28年度		●	・地域の建設業者等39社、測量等2社と災害協定を締結	●	・地域の建設業者等39社、測量等2社と災害協定を締結	●	・地域の建設業者等40社、測量等8社と災害協定を締結	●												
	7内水被害危険箇所の把握及び情報共有		・関係自治体との情報共有		・H28年度		×	・実施なし	×	・実施なし	×	・内水被害発生箇所の調査及び排水ポンプ車の派遣要請が予想される箇所について、国・自治体・業者と現地を確認	●												
	8重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認		・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施				●	・最新の測量データ及び工事完成を踏まえ危険所及び重要水防箇所を見直した	●	・工事完成を踏まえ危険所及び重要水防箇所を見直した	●	・最新の測量データより危険所及び重要水防箇所を見直した	●												
	9水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)																								
	10水防訓練の充実																								
	11水防関係者間での連携、協力に関する検討		・協議会等の場を活用し、大規模な氾濫に際してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう、必要に応じて関係者の協力内容等について検討・調整を図る。				●	・最新の測量データより危険箇所及び重要水防箇所を見直した	●	・工事履歴より危険箇所及び重要水防箇所を見直した	●	・各自治体毎に洪水被害の危険性が高い箇所について、共同点検を実施した	●												

2.ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																									
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																									
	1排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模な水害を想定した排水計画(案)の作成		・排水ポンプの設置箇所を選定して行った排水計画(案)の作成		・H28年度	・R7年度	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)を作成中	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)を作成中	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)を作成中	○	・排水ポンプの設置箇所を選定して行った排水計画(案)の作成への協力		・H28年度	・R7年度	○	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・鉈子)	●	・対象外(水戸・鉈子)	■	・対象外(水戸・鉈子)	■	
	2排水訓練の実施		・水防訓練と同様に各自治体持ち回りで実施する		・H28年度	・R7年度	○	・災害対策用機械操作講習会を実施	○	・災害対策用機械操作講習会を実施	○	・災害対策用機械操作講習会を実施	○	・自治体訓練への支援		・H28年度	・R7年度	○	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・鉈子)	●	・対象外(水戸・鉈子)	■	・対象外(水戸・鉈子)	■	
	3内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成		・作成に必要な情報の提供及び支援		・H28年度	・R7年度	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)の検討	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)の検討	○	・霞ヶ浦管内の排水計画(案)の検討	○	・排水計画(案)作成への支援		・H28年度	・R7年度	○	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・鉈子)	●	・対象外(水戸・鉈子)	■	・対象外(水戸・鉈子)	■	
	4排水設備の耐水化		・排水設備の耐水化		・R3年度	・R7年度	×	・実施なし	×	・実施なし	×	・実施なし	×												
	5排水準備計画の作成		・作成に必要な情報の提供		・R3年度	・R7年度	○	・氾濫シミュレーションの公表 ・内水排水計画の検討	○	・氾濫シミュレーションの公表 ・内水排水計画の検討	○	・氾濫シミュレーションの公表 ・内水排水計画の検討	○	・作成に必要な情報の提供		・R3年度	・R7年度	○	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・鉈子)	●	・対象外(水戸・鉈子)	■	・対象外(水戸・鉈子)	■	

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	茨城県							千葉県										
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																				
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																				
	①優先的に実施する堤防整備	・流入7河川における河川改修の実施【継続実施】	・過年度より継続実施	・R2年度以降継続実施	・流入7河川において掘削・築堤・橋梁改築・用地取得等を実施した	○	・流入河川において掘削・築堤・橋梁改築・用地取得等を実施した	○	・流入河川における河川改修を実施【継続実施】	○	・県管理区間では予定なし									
	②優先的に実施する波浪対策																			
	③危機管理型ハード対策																			
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
	①雨量、水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備を実施している。	・H28年度	・R7年度	・クラウドによるメール配信サービスの整備	○	・メール配信サービスの運用開始	●	・メール配信サービスの運用【継続実施】	●	・県管理区間に施設なし									
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																			
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・今後、水防資機材の補充・追加等の際には、新技術を活用した水防資機材による配備充実を図る。	・H28年度	・R7年度	・資機材等の確認を行った。	○	・資機材等の確認を行った。	○	・資機材等の不足資材を追加配備	○	・配備予定なし									
	④簡易水位計や量水機、CCTVカメラ等の設置	・カメラの設置	・H28年度	・R7年度	・水位計及び河川監視カメラの増設検討	○	・水位計及び河川監視カメラの増設検討	○	・水位計及び河川監視カメラの年次更新を実施【継続実施】	○	・県管理区間で設置予定なし									
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・県庁舎は浸水想定区域外									・県管理施設で予定なし									
	⑥内水被害危険箇所対策、排水ポンプの準備	・内水被害危険箇所に関して関係機関と情報の共有を図っていく。	・H28年度	・R7年度	・水害統計調査により、市町村との情報共有を図った。	○	・水害統計調査により、市町村との情報共有を図った。	○	・水害統計調査により、市町村への情報共有	○	・予定なし									
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水設備の実施	・重要施設の雨水排水設備の実施	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△										
	⑧河川防災ステーションの整備																			
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△										
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・H29年度	・R7年度	・新たに56河川の洪水浸水想定区域図を公表	○	全ての県管理河川における洪水浸水想定区域図を今年度末迄に公表予定	●	全ての県管理河川における洪水浸水想定区域図をR7.3に公表済み	●	・県管理区間での予定無し									
	②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表	・氾濫シミュレーションの検討	・H28年度	・R7年度	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	○	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	○	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	○	・県管理区間での予定無し									
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を整理したガイドラインを作成	・H28年度 ・H29年度 ・H30年度	・R7年度	・広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み	●	・広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み	●	・広域避難計画検討ワーキンググループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み	●	・作成に必要な情報の提供	・H28年度 ・R7年度	・体制整備にあたり市町村より問い合わせがあった場合は、適宜対応を行う事で、市町村と連携を図っていく。 併せて国等の検討結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、検討を行っている。	△	・体制整備にあたり市町村より問い合わせがあった場合は、適宜対応を行う事で、市町村と連携を図っていく。 併せて国等の検討結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、検討を行っている。	△	・体制整備にあたり市町村より問い合わせがあった場合は、適宜対応を行う事で、市町村と連携を図っていく。 併せて国等の検討結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、検討を行っている。	△		
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・H28年度	・R7年度							・作成に必要な情報の提供	・H28年度 ・R7年度	・市町村から問い合わせがあった際に適宜対応。	△	・市町村から問い合わせがあった際に適宜対応。	△	・市町村から問い合わせがあった際に適宜対応。	△		
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																			
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・作成に必要な情報の提供	・H28年度 ・H30年度	・R7年度							・作成に必要な情報の提供	・H28年度 ・R7年度	・市町村地域防災計画への要配慮者利用施設の位置付けを促すとともに、好事例を紹介するなどの支援を実施	○	・市町村地域防災計画への要配慮者利用施設の位置付けを促すとともに、好事例を紹介するなどの支援を実施	○	・市町村地域防災計画への要配慮者利用施設の位置付けを促すとともに、好事例を紹介するなどの支援を実施	○		
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																				
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・関東地整、市町と協同し、策定を支援	・H28年度	・R7年度							・作成に必要な水位情報等の提供 ・関係市へ作成の支援	・H28年度 ・R7年度	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援	○	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援	○	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援	○		
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・マイ・タイムライン作成講座を開催	○	・マイ・タイムライン作成講座を開催	○	・マイ・タイムライン作成講座を開催	○	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 ・R7年度	・県ホームページにおいて、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○	・県ホームページ、ちば県民だより及び各種研修において、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○	・県ホームページ、ちば県民だより及び各種研修において、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○		
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施				・マイ・タイムライン作成講座を開催	○	・マイ・タイムライン作成講座を開催	○	・マイ・タイムライン作成講座を開催	○		・県ホームページにおいて、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○	・県ホームページ、ちば県民だより及び各種研修において、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○	・県ホームページ、ちば県民だより及び各種研修において、マイ・タイムラインの作成方法等について周知を実施した。	○			
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・図上型防災訓練のモデルの構築 ・図上型防災訓練の実施支援 ・訓練への参加	・H28年度 ・H29年度 ・H28年度	・R7年度	・県災害対策本部の図上訓練である風水害対応訓練において、タイムラインを考慮して訓練した	○	・県災害対策本部の図上訓練である風水害対応訓練において、タイムラインを考慮して訓練した	○	・県災害対策本部の図上訓練である風水害対応訓練において、タイムラインを考慮して訓練した	○	・関係自治体訓練への参加	・H28年度 ・R7年度	・国の情報伝達訓練に参加した。	○	・国の情報伝達訓練に参加した。	○	・国の情報伝達訓練に参加した。	○		
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																			
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																			

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	茨城県						千葉県											
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
(3)防災教育や防災知識の普及																				
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	・H28年度	・R7年度	・問合せ内容に応じて、関係部署が適宜対応した。	●	・問合せ内容に応じて、関係部署が適宜対応した。	●	・問合せ内容に応じて、関係部署が適宜対応	●	・設置予定なし								
		②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・H28年度	・R7年度	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施 ・消防学校の生徒を対象に水防工法等の説明会を実施	○	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・H28年度	・R7年度	・気象台と連携し、市町村防災担当者向け、気象防災ワークショップ及び意見交換会を実施した。	●	・気象台と連携し、市町村防災担当者向け、気象防災ワークショップ及び意見交換会を実施した。	●	・気象台と連携し、市町村防災担当者向け、気象防災ワークショップ及び意見交換会を実施した。	●
		③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく。	・H28年度	・R7年度	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・H28年度	・R7年度	・防災教育実践研修会(管理職対象の部・教員対象の部)において、大学教授や銚子地方気象台職員等の外部専門家を講師に招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法、防災情報の活用についての講話を行い、各学校における防災教育の推進を図った。	●	・防災教育実践研修会(管理職対象の部・教員対象の部)において、大学教授や銚子地方気象台職員等の外部専門家を講師に招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法、防災情報の活用についての講話を行い、各学校における防災教育の推進を図った。	●	・防災教育実践研修会(管理職対象の部・教員対象の部)において、大学教授や銚子地方気象台職員等の外部専門家を講師に招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法、防災情報の活用についての講話を行い、各学校における防災教育の推進を図った。	●
		④小学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく。	・H28年度	・R7年度	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・H28年度	・R7年度	・「防災意識高揚のための啓発動画」を活用して啓発を行った。	△	・「防災意識高揚のための啓発動画」を活用して啓発を行った。	○	・「防災意識高揚のための啓発動画」を活用して啓発を行った。 また、小学校の授業における防災副読本「こども防災」の活用を依頼するとともに、実際に授業を視察し、教員との意見交換を行った。 ・安全主任等地区別研究協議会や防災教育実践研修会(管理職の部・教員の部)において、防災教育副読本「こども防災」の活用について啓発を行った。	○
		⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく。 ・住民避難力強化事業(マイマップ、マイ・タイムラインの作成等)の開催	・H28年度 ・H29年度	・R7年度	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	○	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	・H28年度	・R7年度	・要請がなかったため実施なし。	△	・要請がなかったため実施なし。	△	・要請がなかったため実施なし。	△
		⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	・H28年度	・R7年度	・防災情報メール、SNS等の登録促進	○	・防災情報メール、SNS等の登録促進	○	・防災情報メール、SNS等の登録促進	○	・設置予定なし								
		⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。	・H28年度	・R7年度	・河川情報システムのスマートフォン版画面の整備検討	○	・河川情報システムのスマートフォン版の改良を実施	○	・河川情報システムのスマートフォン版の公表	●	・設置予定なし								
		⑧許可作業者等への防災教育の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく。	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施予定なし								
2.ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活																				
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																				
		①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																		
		②水防団同士の連絡体制の確保																		
		③水防団や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り組み方法については、今後検討していく必要がある。	・H28年度	・R7年度	・河川事務所が実施する共同点検に毎年参加している。	○	・河川事務所が実施する共同点検に毎年参加している。	○	・国が実施する共同点検への参加	○	・国が実施する共同点検への参加	・H28年度	・R7年度	・国が実施する共同点検へ参加した。	○	・国が実施する共同点検へ参加した。	○	・国が実施する共同点検へ参加した。	○
		④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加	・H28.5	・R7年度	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。	○	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。	○	・水防総合演習(利根川水系)へ参加	○	・水防管理団体が行う訓練への参加【毎年】	・H28年度	・R7年度	・利根川水系連合・総合水防演習へ参加した。	○	・利根川水系連合・総合水防演習を主催として開催した。	○	・利根川水系連合・総合水防演習へ参加した。	○
		⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進																		
		⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築																		
		⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・内水被害危険箇所に関して関係機関と情報の共有化を図っていく。	・H28年度	・R7年度	・水害統計調査により、市町村との情報共有を図った。	○	・内水氾濫に係る避難情報発令の目安となる取組みをとりまとめ市町村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区において対策を働きかけを実施	○	・内水氾濫に係る避難情報発令の目安となる取組みをとりまとめ市町村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区において対策を働きかけを実施	○	・関係自治体と情報共有していく	・H28年度	・R7年度	・関係市と浸水被害箇所の情報共有を行った。	○	・関係市と浸水被害箇所の情報共有を行った。	○	・関係市と浸水被害箇所の情報共有を行った。	○
		⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。	○	・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。	○	・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。	○	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・国が実施する共同点検へ参加した。	○	・国が実施する共同点検へ参加した。	○	・国が実施する共同点検へ参加した。	○
		⑨水防に関する広報の充実(水防員確保に係る取組)				・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のバネル展を実施した。	●	・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のバネル展を実施した。	●	・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のバネル展を実施	●									
		⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 ・県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施	○	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 ・県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施	○	・水防総合演習(利根川水系)へ、参加	○	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・情報伝達演習を実施した。	○	・情報伝達演習を実施した。	○	・情報伝達演習を実施した。	○
		⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。	○	・茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。	○	・茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	○	・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	○	・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	○
2.ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とする:																				
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																				
		①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・R7年度	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△
		②排水訓練の実施	・関係自治体の実施する訓練への参加	・H28年度	・R7年度	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練へ参加し、技術の習得をした。	○	・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練へ参加し、技術の習得をした。	△	・国が実施する排水ポンプ車の操作訓練へ参加し、技術の習得をした。	△	・関係自治体の実施する訓練への参加	・H28年度	・R7年度	・関係機関における緊急排水計画が作成されていないため、訓練を実施していない。	△	・関係機関における緊急排水計画が作成されていないため、訓練を実施していない。	△	・関係機関における緊急排水計画が作成されていないため、訓練を実施していない。	△
		③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・作成に必要な情報の提供	・H28年度	・R7年度	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	△
		④排水設備の耐水化																		
		⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・対象施設がないため、対象外	■	・対象施設がないため、対象外	■	・対象施設がないため、対象外	■

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	土浦市										石岡市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
1. ハード対策の主な取組																						
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																						
①優先的に実施する堤防整備																						
②優先的に実施する波浪対策																						
③危機管理型ハード対策																						
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																						
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																						
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備																						
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																						
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化																						
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																						
⑦重要インフラの機能確保を図るための、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施																						
⑧河川防災ステーションの整備																						
⑨庁舎等の防災拠点の強化																						
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																						
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成、周知等																						
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																						
②想定最大規模降雨による浸水シミュレーションの公表																						
③広域避難計画の策定																						
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
⑤まちごとまちごとハザードマップ整備・拡充																						
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進																						
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成																						
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																						
④タイムラインに基づく実践的な訓練																						
⑤水害情報発信時の「地震度の色分け表示」、「避難数の発生に合わせた色分けの表示」や「アラート」情報の発表																						
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																						

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	土浦市								石岡市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
③防災教育や防災知識の普及																				
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	問い合わせ窓口を設置する	・H28年度	・R7年度	平時は防災危機管理課。発災時は市民班の所掌業務として災害総合相談窓口の開設・運営に関するを行う	●	平時は防災危機管理課。発災時は市民班の所掌業務として災害総合相談窓口の開設・運営に関するを行う	●	平時は防災危機管理課。発災時は市民班の所掌業務として災害総合相談窓口の開設・運営に関するを行う	●	・ケース(地域)ごとの問い合わせ窓口を明確にする	・H28年度	・R7年度	平時は、問い合わせ内容に応じて担当課で対応。災害時は、防災危機管理課を窓口として対応。	●	平時は、問い合わせ内容に応じて担当課で対応。災害時は、防災危機管理課を窓口として対応。	●	平時は、問い合わせ内容に応じて担当課で対応。災害時は、防災危機管理課を窓口として対応。	●	
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・防災講演会等での実施を検討する	・H28年度	・R7年度	水防災に関する出前講座、講演会を実施	●	水防災に関する出前講座、講演会を実施	●	水防災に関する出前講座、講演会を実施	●	・地域防災訓練にて実施する	・H28年度	・R7年度	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	
	③教員を対象とした講習会の実施	・例年、防災講演会への教員の参加要請を行っている	・H30年度	・R7年度	R6.2月に防災講演会実施。教員の出席あり。	●	R7.2月に防災講演会実施。教員の出席あり。	●	R7.2月に防災講演会実施。教員の出席あり。	●	・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する。	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	④小学生を対象とした防災教育の実施	・小・中学校の防災訓練等に併せて、防災士等に協力を要請し、防災に対する講習等の実施を推進する	・H28年度	R7年度	小学校単位の防災訓練を実施ほか、小学生を対象とした出前講座実施	●	小学生を対象とした、防災教室を実施	●	小学生を対象とした、防災教室を実施	●	・市内小中高校を対象に出前講座により実施する	・H28年度	・R7年度	・市内の小学生に向けて防災教育を実施	●	・市内の小学生に向けて防災教育を実施	●	・市内の小学校区における防災訓練を実施	●	
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	・R7年度	依頼に基づき15件程度実施	●	依頼により19件実施(R7.2月末時点)	●	依頼により19件実施(R7.2月末時点)	●	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	・R7年度	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	・自治会や自主防災組織での訓練時、出前講座等で講話を実施	●	
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・広報誌等でのプッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知を検討	・H28年度	R7年度	・市報等により、情報取得手段について適宜、周知。	●	市報や防災教室等により、情報取得手段について適宜、周知。	●	市報や防災教室等により、情報取得手段について適宜、周知。	●	・情報の入手方法について啓発していく。	・H28年度	・R7年度	・訓練や出前講座、防災研修会などで啓発	○	・訓練や出前講座、防災研修会などで啓発	○	・訓練や出前講座、防災研修会などで啓発	○	
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等をリンク先で提供する	・H28年度	・R7年度	市HPIに川の防災情報リンク先設定	●	市HPIに川の防災情報リンク先設定	●	市HPIに川の防災情報リンク先設定	●	・市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報を提供している	・H28年度	R7年度	・市公式サイトにて、川の防災情報や水位情報、ライブカメラ等で情報提供を行っている。	●	・市公式サイトにて、川の防災情報や水位情報、ライブカメラ等で情報提供を行っている。	●	・市公式サイトにて、川の防災情報や水位情報、ライブカメラ等で情報提供を行っている。	●	
	⑧許可工作者管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討をする	・H28年度	・R7年度	・実施に向け内部検討中	○	・実施に向け内部検討中	○	・実施に向け内部検討中	○	・情報収集を図り、実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水対策による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																				
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																				
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せて伝達訓練を実施	・H28年度	・R7年度	・実施済み 水防団兼任のため、普段から継続実施	●	・実施済み 水防団兼任のため、普段から継続実施	●	・実施済み 水防団兼任のため、普段から継続実施	●	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等で行っている	・H28年度	・R7年度	・日頃の訓練や火災現場等にて実施	○	・日頃の訓練や火災現場等にて実施	○	・日頃の訓練や火災現場等にて実施	○	
	②水防団同士の連絡体制の確保	・各水防団への無線機等の配備計画策定中	・H28年度	・R7年度	・デジタル無線機及びトランシーバーを配備済み	●	・デジタル無線機及びトランシーバーを配備済み	●	・デジタル無線機及びトランシーバーを配備済み	●	・連絡体制を確保する	・H28年度	・R7年度	・消防団として連絡体制確保済み	●	・消防団として連絡体制確保済み	●	・消防団として連絡体制確保済み	●	
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施している重要水防箇所等の共同点検への参加	・H28年度	・R7年度	霞ヶ浦(西浦)中岸にて実施	●	—	—	・河川事務所が実施している重要水防箇所等の共同点検への参加	●	・H28年度	・R7年度	・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	●	・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	●	・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	●		
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・毎年、消防本部主導の水防訓練を実施	・H28年度	・R7年度	消防本部主導の水防訓練を実施予定であったが、台風2号の影響により訓練中止	×	消防本部主催の水防訓練を実施	●	消防本部主催の水防訓練を実施	●	・実施の必要性を精査し検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・市のイベント等や各分団において募集活動の実施チラシの配布のほり旗の作成	・H28年度	・R7年度	・市報等での募集の実施を検討	○	市報等での募集の実施を検討	○	市報等での募集の実施を検討	○	・実施の必要性を精査し検討する	・H29年度	・R7年度	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・建設業協会との災害協定締結済み	H29年度	・R7年度	茨城県建設業協会土浦支部土浦分会と災害協定締結済み	●	茨城県建設業協会土浦支部土浦分会と災害協定締結済み	●	茨城県建設業協会土浦支部土浦分会と災害協定締結済み	●	・実施の必要性を精査し検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・作成済みの内水ハザードマップを共有	・H28年度	R7年度	内水ハザードマップ作成済み	●	内水ハザードマップ作成済み	●	内水ハザードマップ作成済み	●	・消防、消防団、警察等と共同で、内水等の危険箇所マップを作成し共有する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・内水浸水想定区域図作成済	○	
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	各関係機関との水防箇所の点検を実施	●	各関係機関との水防箇所の点検を実施	●	各関係機関との水防箇所の点検を実施	●	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・重要水防箇所の点検を実施	●	・重要水防箇所の点検を実施	●	・重要水防箇所の点検を実施	●	
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	水防団員確保のための広報を継続実施	○	水防団員確保のための広報を継続実施	○	水防団員確保のための広報を継続実施	○	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	○	
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	消防本部主導の水防訓練を実施予定であったが、台風2号の影響により訓練中止	×	R6.5に実施済	●	実践的な水防訓練の検討、実施	●	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	○	実施に向けた取り組みを継続	○	実施に向けた取り組みを継続	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																				
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																				
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H28年度	・R7年度	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	②排水訓練の実施	水防訓練との同時実施を検討	・H29年度	・R7年度	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H29年度	・R7年度	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	④排水設備の耐水化										・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	計画策定を検討中	○	計画策定を検討中	○	計画策定を検討中	○	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	龍ヶ崎市							鹿嶋市										
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																				
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																				
		①優先的に実施する堤防整備																		
		②優先的に実施する波浪対策																		
		③危機管理型ハード対策																		
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																		
		②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	R2年度	R7年度	R3年度に防災行政無線のデジタル化整備工事が終了した。	●	・防災行政無線テレホンサービスの周知のため、市民にマグネットカード配布。	●	・防災行政無線テレホンサービスの周知のため、市民にマグネットカード配布。 ・上記の取り組みを市広報紙に掲載。	●	・防災行政無線はデジタル化へ改良済み・身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音声放送や防災行政無線の内容を見ることができ、ディスプレイ機能がある戸別受信機を無償で貸出を実施	H28年度	R7年度	身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音声放送や防災行政無線の内容を見ることができ、ディスプレイ機能がある戸別受信機を無償で貸出を実施	○	身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音声放送や防災行政無線の内容を見ることができ、ディスプレイ機能がある戸別受信機を無償で貸出を実施	○	身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音声放送や防災行政無線の内容を見ることができ、ディスプレイ機能がある戸別受信機を無償で貸出を実施	●	身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者又は視覚障がい者の属する世帯の代表者に対し、引き続き音声放送や防災行政無線の内容を見ることができ、ディスプレイ機能がある戸別受信機を無償で貸出を実施
		③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	H28年度	R7年度	牛久沼(谷田川)の越水を踏まえ、止水板34枚及び水のう6本の購入について、内部提案を経て、令和6年度の当初予算へ要求を行った。	○	・止水板34枚と水のう6本の購入。 ・水のう展開訓練の実施。 ・R7年度にドローン機器一式購入のための予算要求。	●	・災害対応ドローン2機購入。 ・ドローン操縦国家資格取得(職員6名) ・職員用の災害対応ドローンマニュアル作成。	●	・水防団(消防団員)の安全を確保するための資機材の充実を図った	H28年度	R7年度	・水防団(消防団員)の安全を確保するため、資機材等の充実を図る	●	・水防団(消防団員)の安全を確保するため、資機材等の充実を図る	●	・水防団(消防団員)の安全を確保するため、資機材等の充実を図る	●	・水防団(消防団員)の安全を確保するため、資機材等の充実を図る
		④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	H30年度	R3年度	・小貝川に簡易水位計設置を国土交通省に要望している。 ・県管理河川に危機管理型水位計設置を茨城県に要望する。		・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	●	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	●	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない	H28年度	R7年度	新たに25台の無線機を整備	×	新たに25台の無線機を整備	×	新たに25台の無線機を整備	×	新たに25台の無線機を整備
		⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	H28年度	H28年度	・新庁舎における耐水対策として、自家発電装置のかさ上げを実施	●	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	●	・H28自家発電装置かさ上げ済みのため、新たな整備は考えていない。	●	・庁舎が浸水想定区域外であり対象なし									
		⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	H29年度	R7年度	・排水ポンプの保守点検の実施、水中ポンプの準備 ・常総市八間堀川の内水氾濫(平成29年10月台風21号)を教訓に既存のタイムラインの追加訂正検討中 ・佐貫駅周辺に内水氾濫防止用の貯留槽の整備中	●	・排水ポンプの保守点検の実施	●	・排水ポンプの保守点検の実施	●	・排水ポンプの保守点検の実施	H28年度	R7年度	消防団による内水被害箇所の点検・パトロール等の実施	●	消防団による内水被害箇所の点検・パトロール等の実施	●	消防団による内水被害箇所の点検・パトロール等の実施	●	消防団による内水被害箇所の点検・パトロール等の実施
		⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施										R3年度	R7年度		×		×		×	
		⑧河川防災ステーションの整備																		
		⑨庁舎等の防災拠点の強化	R3年度	R3年度	旧学校給食センターを防災備蓄倉庫として改修する事業計画を提案し、令和6年度の当初予算へ要求を行った。	○	旧学校給食センターの防災備蓄倉庫への改修工事が完了し、防災備蓄品の搬入を完了させた。	●	附属の新庁舎として令和7年度に開設した龍ヶ崎市役所保健福祉センターを指定。(自家発電装置あり)	●	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	R3年度	R7年度		×		×		×	
2. ソフト対策の主な取組																				
①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
		①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																		
		②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																		
		③広域避難計画の策定	H28年度	R3年度	・現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中 ・鬼怒川・小貝川流域減災対策協議会の中で広域避難計画(案)を策定する		・R2年度に小貝川・利根川洪水避難計画と広域避難計画を策定済み。	●	・R2年度に小貝川・利根川洪水避難計画と広域避難計画を策定済み。	●	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	H29年度	R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続
		④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	H29年度	R3年度	・関東地整において、大規模氾濫想定区域見直し後、洪水ハザードマップを策定		・市広報紙に、市が発行している防災の手引き(ハザードマップ)について掲載し、周知した。	●	・茨城県管理河川の洪水浸水想定区域図を市公式HPで公開 ・R7年度に県管理河川ハザードマップ作成の予算要求。	○	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した洪水ハザードマップの見直しをする	H29年度	R7年度	・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。	●	・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。	●	・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。	●	・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。
		⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	H28年度	R7年度	・地区防災計画策定に向け取り組み中 ・大規模氾濫区域見直し後、新潟県三条市等のハザードマップを参考に拡充予定		・市内の2地区(松葉地区、長山地区)で地区防災計画の策定に向けて取組を行った。	○	・市内の1地区(松葉地区)で地区防災計画の策定に向けて取組を行った。 ・R7年度に電柱等への想定浸水深表示板設置の予算要求。	○	・まるごとまちごとハザードマップに係る想定浸水深表示板を市内浸水想定域にある100箇所の電柱に設置 ・上記設置地域の住民に対し、市担	H28年度	R7年度	今後県のモデル事業を取り入れ、整備・拡充に努める。	○	今後県のモデル事業を取り入れ、整備・拡充に努める。	○	今後県のモデル事業を取り入れ、整備・拡充に努める。	○	今後県のモデル事業を取り入れ、整備・拡充に努める。
		⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	H28年度	R7年度	・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援 ・水防法改正を基に、介護施設、保育園、病院等に要配慮者支援施設避難計画作成を依頼。		・避難訓練の促進の取り組みを検討	○	・避難訓練促進の取り組みを検討	○	・10月転居により、新たに浸水想定域内に設置された要配慮者利用施設に対し、施設訪問し、避難計画の作成・提出を依頼。計画書の作成方法や訓練の重要性・報告について説明した。令和7年3月作成完了し、受領した。	H29年度	R7年度	土砂災害、洪水ハザード内に位置する要配慮者利用施設の避難確保計画の作成完了	●	土砂災害、洪水ハザード内に位置する要配慮者利用施設の避難確保計画の作成完了	●	土砂災害、洪水ハザード内に位置する要配慮者利用施設の避難確保計画の作成完了	●	土砂災害、洪水ハザード内に位置する要配慮者利用施設の避難確保計画の作成完了
		(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																		
		①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	H28年度	R3年度	・避難に着目した小貝川・利根川洪水タイムラインを策定し、随時見直しを図る。			×		×	・令和7年3月、市地域防災計画(一般災害対策計画編)の改定に伴い、従来の水害対応チェックリストの見直しを行った。(小貝川・利根川に加え、牛久沼についての記載を追加)	H29年度	R7年度	・洪水タイムライン(防災行動計画)作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修正。	●	・洪水タイムライン(防災行動計画)作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修正。	●	・洪水タイムライン(防災行動計画)作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修正。	●	・洪水タイムライン(防災行動計画)作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修正。
		②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	R3年度	R3年度	・地域住民に対してマイ・タイムライン作成講座を実施した。	●	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。	●	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。	●	・マイ・タイムラインの作成の促進	R3年度	R7年度	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介 ・マイ・タイムラインに関するチラシを行政委員配布実施	○	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介 ・マイ・タイムラインに関するチラシを行政委員配布実施	○	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介 ・マイ・タイムラインに関するチラシを行政委員配布実施	○	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介 ・マイ・タイムラインに関するチラシを行政委員配布実施
		③「マイ・タイムライン」作成講習の実施			・地域住民に対してマイ・タイムライン作成講座を実施した。	●	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。	●	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。	●				出前講座にて実施	○	出前講座にて実施	○	出前講座にて実施	○	出前講座にて実施
		④タイムラインに基づく実践的な訓練	H28.6	R3年度	・タイムラインに基づいた水防訓練を6月5日に実施。7月5日に検討会を実施。H28年度中に整理をしていく ・H28年度に策定した小貝川・利根川洪水避難計画の検証を行う。		・市主催の総合防災訓練として、川原代地区住民を対象に高台の避難所へ実際に避難させ、消防署、消防団、警察署、ライフライン事業者などの防災関係機関と連携した実践的な訓練を実施。(土壌作成訓練・積み土のう訓練・水のう展開訓練)	●	・小貝川市民運動公園にて龍ヶ崎市消防団(水防団)による水防訓練を実施(R6.6月)。 ・浸水想定区域住民対象「洪水からの避難訓練」実施。(R7.7.29) ・水害対応訓練として「市総合防災訓練 IN 馴染地区」を実施。(R7.11.1)	●	・小貝川市民運動公園にて龍ヶ崎市消防団(水防団)による水防訓練を実施(R7.6.15) ・浸水想定区域住民対象「洪水からの避難訓練」実施。(R7.7.29) ・水害対応訓練として「市総合防災訓練 IN 馴染地区」を実施。(R7.11.1)	H28年度	R7年度	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	○	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	○	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	○	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施
		⑤洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																		

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	龍ヶ崎市							鹿嶋市										
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
③防災教育や防災知識の普及																				
1	水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
2	水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・9/1～9/8下館河川事務所(鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会と連携し常総市水害に関するパネルを展示予定・浸水想定区域対象地区にてマイタイムライン作成講座を実施し、住民の自助意識を啓発する。	H29.9 H29年度	R7年度	×	×	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
3	教員を対象とした講習会の実施	・学校担当課と調整し、小中学生への講習会を教員も含め検討・実施する。	H28年度	R3年度	×	×	●	●	●	●	●	H29年度	R7年度	△	△	○	○	○	○	
4	小学生を対象とした防災教育の実施	・平成28年6月5日市内合同防災訓練において、水戸気象台の支援を受けて、防災教育を実施 ・市防災気象アドバイザー(委託)が市内小中学生に向けて水防災教育を実施	H28年度 H28年度	R3年度	×	×	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	○	○	●	●	●	●	
5	出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
6	プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・広報車、防災行政無線、メール配信、エリアメールによって発信 ・音声一斉配信サービスを導入	H28年度 H29年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
7	水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・市公式サイトにて、川の防災情報のリンクを付し、情報を提供している	H28年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
8	許可工物管理者への防災教育の実施	・霞ヶ浦では該当なし	H28年度	R3年度	■	■	■	■	■	■	■	H29年度	R7年度	○	○	△	△	△	△	
2.ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																				
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																				
1	水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等で行っている	H28年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H27年度	R7年度	○	○	●	●	●	●	
2	水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	H28年度	R3年度	●	○	●	○	●	○	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
3	水防団や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加していく	H28年度	R7年度	●	●	●	×	●	×	●	H28年度	R7年度	●	×	×	×	×	×	
4	関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・各関係機関が連携し、タイムライン(小貝川・利根川対応)に基づいた避難行動実働型の水害対応訓練を実施した ・H28年度に策定した小貝川・利根川洪水避難計画の検証を行う。 ・国土交通省と連携してマイ・タイムライン検証訓練を行う。	H28.6 H30.2 H30年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H27年度	R7年度	×	△	●	●	●	●	
5	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・水防団入団の募集広報を実施	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	○	○	●	●	●	●	
6	地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	H28年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
7	内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・担当課により点検を実施する	H28年度	R7年度	○	○	○	○	○	○	○	H28年度	R7年度	●	●	●	●	○	○	
8	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	R3年度	R7年度	○	○	●	●	●	●	●	R3年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	
9	水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討・実施	R3年度	R3年度	●	●	●	●	●	●	●	R3年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
10	水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討・実施	R3年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	●	R3年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	
11	水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	R3年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	●	R3年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	
2.ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																				
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																				
1	排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置箇所を選定まで行った排水計画(案)の作成	H28年度	R7年度	●	●	●	○	●	○	●	H28年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	
2	排水訓練の実施	・毎年、水防訓練と同様に各自治体持ち回りで実施する	H28年度	R7年度	○	○	○	○	○	○	○	H28年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	
3	内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	—	H28年度	R7年度	○	○	○	○	○	○	○	H28年度	R7年度	○	○	○	○	○	○	
4	排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	R3年度	R7年度	●	●	●	●	●	●	●	R3年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	
5	排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	R3年度	R7年度	△	△	△	△	△	△	△	R3年度	R7年度	×	×	×	×	×	×	

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	潮来市								福敷市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																				
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																				
		①優先的に実施する堤防整備																		
		②優先的に実施する波浪対策																		
		③危機管理型ハード対策																		
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																		
		②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良を行う	・H28年度	R7年度	市内完全デジタル化の整備済戸別受信機を難聴地域に設置中(約20台)	●	市内完全デジタル化の整備済戸別受信機を難聴地域に設置(6台)	●	市内完全デジタル化の整備済戸別受信機を難聴地域に設置(令和7年度は、設置無し)	●	・防災無線デジタル化に伴う実施設計 ・防災無線(デジタル化)	・H27年度	R7年度	・福敷市公式アプリの機能拡張。 ・IP戸別受信端末の導入調整。	●	・福敷市公式アプリの機能拡張。 ・IP戸別受信端末の導入。	●		
		③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	・H29年度	・R7年度	市内11ヶ所に土のうステーションの整備、耐候性土のうの推進	○	市内11ヶ所に土のうステーションの整備、耐候性土のうの推進と毎年防災訓練等実施の際、土壌作成補給を行う	○	市内11ヶ所に土のうステーションの整備、耐候性土のうの推進と毎年防災訓練等実施の際、土壌作成補給を行う	○	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	・H30年度	・R7年度		○		○		
		④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、カメラの設置	・H29年度	・R7年度	・POTEKA、ウェザーニュース等の導入検討中	△	・国・県の防災情報システムの導入や川の防災情報を注視し対応する。	△	・国・県の防災情報システムの導入や川の防災情報を注視し対応する。	△	・POTEKAの設置	・H28年度	R7年度		●		×		
		⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり対象なし									・自家発電装置の耐水化を図る ・庁舎が浸水想定区域外であり対象なし	・H29年度	・R7年度		■		■		
		⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・水中ポンプの準備	・H28年度	・R7年度	・建設業組合との応援協定において、6/2の大雨時、市内1箇所に排水ポンプの設置を実施	○	・建設業組合との応援協定において大雨、内水の排水対策を講じている。	○	・建設業組合との応援協定において大雨、内水の排水対策を講じている。	○	・重要危険箇所については共同点検等を計画予定 ・水防訓練等で水防工法実施	・H28年度	R7年度		○		○	・フロートスイッチ付きのポンプを設置	○
		⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度	・R7年度	施設管理担当との排水設備を確認	○	施設管理担当との排水設備を確認	○	施設管理担当との排水設備を確認	○	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度	・R7年度		△		△	△	
		⑧河川防災ステーションの整備																		
		⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度	・R7年度		○		△		△	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度	・R7年度		△		△	△	
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
		①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																		
		②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																		
		③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	・H28年度	・R7年度	平成29年2月に神栖、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成実施	●	平成29年2月に神栖、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成実施	●	平成29年2月に神栖、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成実施	●	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	・H28年度	R7年度				△		△
		④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H29年度	R7年度	広域避難を考慮したハザードマップを含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年3月ホームページにアップ済。令和4年度「B4冊子版 潮来市総合防災マップ保存版」を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済	●	広域避難を考慮したハザードマップを含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年3月ホームページにアップ済。令和4年度「B4冊子版 潮来市総合防災マップ保存版」を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済	●	広域避難を考慮したハザードマップを含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年3月ホームページにアップ済。令和4年度「B4冊子版 潮来市総合防災マップ保存版」を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済	●	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H29年度	R7年度		△		△	△	
		⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度	・R7年度	防災無線BOXを活用し18箇所に設置	●	防災無線BOXを活用し18箇所に設置	●	防災無線BOXを活用し18箇所に設置	●	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度	・R7年度	・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水深想定看板を追加設置	○		○	○	
		⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	・H30年度	・R7年度	令和5年度同様、7割の策定	○	要配慮者利用施設の再確認を行い、避難計画策定支援を行う。	○	要配慮者利用施設の再確認を行い、避難計画策定支援を行う。	○	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	・H29年度	・R7年度		△		△	△	
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																				
		①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	・H29年度	R7年度	令和3年5月、①霞ヶ浦河川事務所②利根川下流河川事務所③潮来土木事務所との3種のタイムライン作成済	●	令和3年5月、①霞ヶ浦河川事務所②利根川下流河川事務所③潮来土木事務所との3種のタイムライン作成済	●	令和3年5月、①霞ヶ浦河川事務所②利根川下流河川事務所③潮来土木事務所との3種のタイムライン作成済	●	・タイムラインの策定を行う	・H29年度	R7年度	・我が家のタイムラインを全戸配布 ・出前講座等での作成会実施	○		●	「我が家のタイムライン」を各戸配布し、作成したタイムラインに基づいて避難訓練において避難行動の確認を実施した。	
		②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	令和5年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成ブース設置。令和5年6月に、潮来市自主防災組織リーダー研修会の中で、マイ・タイムライン作成	○	毎年、防災訓練の際、霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受けマイ・タイムラインの作成啓発を図っている。	○	毎年、防災訓練の際、霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受けマイ・タイムラインの作成啓発を図っている。	○	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・我が家のタイムラインを全戸配布 ・出前講座等での作成会実施	△		●	「我が家のタイムライン」を各戸配布し、作成したタイムラインに基づいて避難訓練において避難行動の確認を実施した。	
		③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	令和5年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成ブース設置	○	毎年、防災訓練の際、霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受けマイ・タイムラインの作成啓発を図っている。	○	毎年、防災訓練の際、霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受けマイ・タイムラインの作成啓発を図っている。	○				・我が家のタイムラインを全戸配布 ・出前講座等での作成会実施	○		●	出前講座で、我が家のタイムライン作成講座を実施した。	
		④タイムラインに基づく実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	・H29年度	・R7年度	令和5年6月4日、潮来市役所全職員に対し、前川が氾濫する想定で情報伝達訓練中止(台風2号対応のため)	○	洪水ハザードを想定した防止訓練を実施。	○	洪水ハザードを想定した防止訓練を実施。	○	・実践的な防災訓練のする	・H29年度	・R7年度		●		●	作成した「我が家のタイムライン」に基づいて、避難訓練において避難行動の確認を実施した。	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																		
		⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																		

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	潮来市										福敷市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
2. ソフト対策の主な取組																						
① 防災教育や防災知識の普及																						
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	・H28年度	・R7年度	市役所総務課に設置	●	市役所総務課に設置	●	市役所総務課に設置	●	・設置を検討中。	・H28年度	・R7年度		△		△		△			
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討する	・H29年度	・R7年度	令和5年10月、潮来市議会議員に対し、前川排水機場(水門を閉めるフロー)説明・見学	○	洪水ハザードを想定した防止訓練を実施、各地区で事前説明会を開催。	○	洪水ハザードを想定した防止訓練を実施、各地区で事前説明会を開催。	○	・実施について検討する	・H29年度	・R7年度		△	・出前講座、HP、アプリを利用した啓発活動	●	・出前講座で、広報を実施した。	●			
	③教員を対象とした講習会の実施	・浸水想定区域にある小中学校を対象に講習会を実施する	・H29年度	・R7年度	平成30年度に小学生対象の防災教育により、教員間で情報共有。勉強会検討	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する	・H29年度	・R7年度		●		●	・市議会教諭部会に参加し出前講座を実施した。	●			
	④小学生を対象とした防災教育の実施	・実施について検討する	・H29年度	・R7年度	令和元年度から市内小学校において各2回、計10回実施。	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	・浸水想定区域にある小学校を対象に、実施について検討する	・H29年度	・R7年度		●		●	・市内小学5年生を対象にジュニア防災士検定を取得。	●			
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	・H28年度	・R7年度	令和5年9月28日に、潮来市高齢者クラブ(悠々塾)において、潮来市の防災について講習会を開催しました。	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	霞ヶ浦河川事務所・茨城県危機管理課の支援を受け、ワークショップ等の防災教育を実施。	○	・出前講座等を活用した講習会の実施	・H28年度	・R7年度		●		●	・市各団体に対して出前講座を実施した。	●			
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	区長、民生・児童委員、消防(水防)団、市職員を対象とし、防災に特化したメール等配信サービスを整備	●	区長、民生・児童委員、消防(水防)団、市職員を対象とし、防災に特化したメール等配信サービスを整備	●	区長、民生・児童委員、消防(水防)団、市職員を対象とし、防災に特化したメール等配信サービスを整備	●	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度		△		●	・福敷市公式アプリ、メール、LINE等で情報発信を実施した。	●			
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・実施に向けて検討する	・H28年度	・R7年度	市ホームページに川の防災情報等をリンクして市民に提供	●	市ホームページに川の防災情報等をリンクして市民に提供	●	市ホームページに川の防災情報等をリンクして市民に提供	●	・ホームページで川の防災情報等をリンク先で提供する	・H28年度	・R7年度		△	・市HP、市公式アプリに各種防災情報のリンク添付	○		○			
	⑧許可工務物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R2年度		△		△		△			
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																						
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																						
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでも水防訓練に併せ伝達訓練を実施している	・H28年度	・R7年度	防災訓練の際、消防団員によるIP無線を活用し情報伝達訓練を実施	○	防災訓練の際、消防団員によるIP無線を活用し情報伝達訓練を実施	○	防災訓練の際、消防団員によるIP無線を活用し情報伝達訓練を実施	○	・これまでも水防訓練等で伝達訓練を実施している	・H28年度	・R7年度		●		●	・消防団各訓練において実施した。	●			
	②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H28年度	・R7年度	消防系統で確保済	●	消防系統で確保済	●	消防系統で確保済	●	・連絡体制は確保済	・H28年度	・R7年度		●		●	・消防団各訓練において実施した。	●			
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	・R7年度	令和5年6月河川事務所の共同点検及び潮来土木事務所の出水前点検(水防団出席無)を実施	○	霞ヶ浦河川事務所の共同点検及び潮来土木事務所の出水前点検、土砂災害警戒区域の点検を実施	○	霞ヶ浦河川事務所の共同点検及び潮来土木事務所の出水前点検、土砂災害警戒区域の点検を実施	○	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	・R7年度		△		△	・河川事務所と共同訓練を実施した。	●			
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系連合水防演習に参加する ・広域水防訓練の実施	・H29年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	香取市との共同訓練を実施。	○	実施に向けた取り組みを継続	△	・利根川水系連合水防演習に参加する ・広域水防訓練の実施	・H29年度	・R7年度		●		●	・他自治体と合同で水防訓練を実施した。	●			
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・広報誌やホームページ等で募集していく	・H30年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	・広報誌・ホームページ等で募集していく	・H29年度	・R7年度		△		△		△			
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	・H28年度	・R7年度	災害応援協定で対応	●	災害応援協定で対応	●	災害応援協定で対応	●	・実施を検討する	・H29年度	・R7年度		△		△		△			
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	・H29年度	・R7年度	令和5年7月に水防訓練実施と情報共有	○	潮来市総合防災マップデジタル版や、潮来市総合防災マップ保存版で情報共有に努めている。	○	潮来市総合防災マップデジタル版や、潮来市総合防災マップ保存版で情報共有に努めている。	○	・水防団等と情報共有、点検を行う	・H29年度	・R7年度		○		○	・関係部署と情報共有した。	○			
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	令和5年7月の水防訓練実施とともに外浪逆浦周辺堤防の確認	○	毎年、中継放水訓練と共に、重要堤防箇所の確認を行っている。(R6 荒天により中止)	○	毎年、中継放水訓練と共に、重要堤防箇所の確認を行っている。	○	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度		△		△		△			
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	継続的な水防団(消防団)員の募集を実施	○	継続的な水防団(消防団)員の募集を実施	○	継続的な水防団(消防団)員の募集を実施	○	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度		△		△		△			
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	「水防用土のステーション」用の土のう作製訓練を実施	○	「水防用土のステーション」用の土のう作製訓練を実施	○	「水防用土のステーション」用の土のう作製訓練を実施	○	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度		△		○		○			
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度		△		○		○			
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																						
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																						
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置箇所を選定まで行った排水計画(案)を作成する。	・H29年度	・R7年度	市職員向けマニュアル「台風・大雨に備えた事前行動計画」に排水機場、樋門、水門等の一覧を盛り込み確認	○	市職員向けマニュアル「台風・大雨に備えた事前行動計画」に排水機場、樋門、水門等の一覧を盛り込み確認	○	市職員向けマニュアル「台風・大雨に備えた事前行動計画」に排水機場、樋門、水門等の一覧を盛り込み確認	○	・検討する	・H29年度	・R7年度		△		△		△			
	②排水訓練の実施	・防災訓練と合同で実施する検討を行う	・H29年度	・R7年度	防災訓練での担当部局による操作訓練実施	○	防災訓練での担当部局による操作訓練実施	○	防災訓練での担当部局による操作訓練実施	○	・防災訓練と合同で実施する	・H29年度	・R7年度		△		△		△			
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所を選定まで行った排水計画(案)の作成	・H29年度	・R7年度	排水ポンプ設置箇所及び過去の浸水箇所一覧図を「台風・大雨に備えた事前行動計画」に改訂	○	排水ポンプ設置箇所及び過去の浸水箇所一覧図を「台風・大雨に備えた事前行動計画」に記載	○	排水ポンプ設置箇所及び過去の浸水箇所一覧図を「台風・大雨に備えた事前行動計画」に記載	○	・検討する	・H29年度	・R7年度		△		△		△			
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度		△		△		△			
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	実施に向けた取り組みを継続	△	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度		△		△		△			

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	かすみがうら市										神栖市														
			実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績		実施状況	R7年度実績		実施状況	実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績		実施状況	R7年度実績		実施状況	
					着手	完了											着手	完了									
3. 防災教育や防災知識の普及																											
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置を検討する	・H29年度	・R7年度	・平時は、問合せ内容に応じて担当課で対応。災害時は、危機管理課を窓口として対応。	●	・平時は、問合せ内容に応じて担当課で対応。災害時は、危機管理課を窓口として対応。	●	・平時は、問合せ内容に応じて担当課で対応。災害時は、危機管理課を窓口として対応。	●	・問い合わせ窓口の設置	・H28年度	・R7年度					・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当課で対応。災害時は、防災安全課を窓口として対応。	●	・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当課で対応。災害時は、防災安全課を窓口として対応。	●					
		②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・常陸川水門現地見学会に参加	・H28年度	・R7年度	・総合防災訓練や自治会への自主防災組織の組織化説明会にて広報	●	・総合防災訓練や自治会への自主防災組織の組織化説明会にて広報	●	・総合防災訓練や自治会への自主防災組織の組織化説明会にて広報	●	・国、県による出前講座等の開催	・H28年度	・R7年度					洪水浸水想定区域内を対象に「我が家のタイムライン」を配布	●							
		③教員を対象とした講習会の実施	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	R7に教員を対象に講習会を実施	●	・国、県による出前講座等の開催	・H29年度	・R7年度					依頼があった小中学校等を対象に出前講座を実施	●							
		④小学生を対象とした防災教育の実施	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	・総合防災訓練への参加を呼び掛けたが日程調整ができず未実施となった。	×	・総合防災訓練への参加を呼び掛けたが日程調整ができず未実施となった。	×	R7に小学生を対象とした防災学習を開催	●	・国、県による出前講座等の開催	・H29年度	・R7年度					依頼があった小学校に出前講座を実施	●							
		⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	・R7年度	・令和6年度、実施予定の「水害から命を守るための避難訓練」に係る訓練内容の事前説明会を実施。	●	・実施予定の「水害から命を守るための避難訓練」に係る訓練内容の事前説明会を実施。	●	R7に出前講座を実施	●	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	・R7年度					依頼があった小中学校や事業者などに対して出前講座を実施	●							
		⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・メール、ツイッター等による周知やその他の方法を検討	・H29年度	・R7年度	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アプリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。 ・総合防災マップや市広報紙等において情報取得手段について、適宜、周知。 ・R6年度防災アプリを整備予定。	○	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アプリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。 ・総合防災マップや市広報紙等において情報取得手段について、適宜、周知。 ・R6年度防災アプリを整備予定。	○	・総合防災マップや市広報紙等において情報取得手段について、適宜、周知。 ・防災アプリを整備	●	・プッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知	・H28年度	・R7年度					・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。	●	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。	●					
		⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等をリンク先で提供する	・H28年度	・R7年度	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や川の防災情報をリンク。区長会総会や自主防災組織をつらうら研修会で各種防災情報を取得するアプリ等を継続して周知していく。	●	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や川の防災情報をリンク。区長会総会や自主防災組織をつらうら研修会で各種防災情報を取得するアプリ等を継続して周知していく。	●	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や川の防災情報をリンク。区長会総会や自主防災組織をつらうら研修会で各種防災情報を取得するアプリ等を継続して周知していく。	●	・ホームページ、スマートフォンやテレビなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	・H29年度	・R7年度					市ホームページに「川の防災情報」へのリンクを設定している	●	市ホームページに「川の防災情報」へのリンクを設定している	●					
		⑧許可作業者管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・操作規則の制定 ・履行検査における周知	・H28年度 ・H28年度	・R7年度					・策定に向け内部検討中	○	・策定に向け内部検討中	○					
2. ソフト対策の主な取組 ② 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																											
(1) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																											
		①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せて伝達訓練を実施していく	・H29年度	・R7年度	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続実施	●	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続実施	●	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続実施	●	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・H28年度	・R7年度					・消防団への連絡手段として、無線機やメールを整備している。	●	・消防団への連絡手段として、無線機やメールを整備している。	●					
		②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H29年度	・R7年度	・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	●	・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	●	・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	●	・水防団同士の連絡体制の確保	・H28年度	・R7年度					・小型無線機を各分団へ配備済み	●	・小型無線機を各分団へ配備済み	●					
		③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同訓練に参加する	・H28年度	・R7年度	令和5年6月共同訓練実施	○	令和6年6月共同訓練実施	○	令和7年6月共同訓練実施	○	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加	・H28年度	・R7年度					・河川事務所の共同点検に参加	●	・河川事務所の共同点検に参加	●					
		④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	毎年、消防本部主導の水防訓練を実施	・H28年度	・R7年度	6月の水防訓練、11月の総合防災訓練にて実施	●	6月の水防訓練、11月の総合防災訓練にて実施	●	消防本部主導の水防訓練を実施	●	・利根川水系連合水防演習への参加 ・関係機関と連携した広域水防訓練の実施	・H29年度	・R7年度					市総合防災訓練にて消防団、防災士協議会へ協力を依頼し、タイムライン作成講習及び浸水想定区域周辺のパトロールを実施	●							
		⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	広報誌やホームページ等で募集していく	・H29年度	・R7年度	11月の総合防災訓練にて団員募集実施	●	・実施に向けた取り組みを継続	●	・実施に向けた取り組みを継続	●	△ 広報紙やホームページ等で水防協力団体を募集	・H28年度	・R7年度					・水災害時には、消防団が管轄区域内の内外被害の対応をしている。消防団の募集については、経常的に実施しているが、水防協力団体の募集については実施していない。	●	・水災害時には、消防団が管轄区域内の内外被害の対応をしている。消防団の募集については、経常的に実施しているが、水防協力団体の募集については実施していない。	●					
		⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施を検討する	・H29年度	・R7年度	地元の建設業協会と災害時の協力体制を協議	●	地元の建設業協会と災害時の協力体制を協議	●	地元の建設業協会と災害時の協力体制を協議	●	・建設業者と災害時における応急復旧に関する協定の締結済	・H23年度	・R7年度					・H23年度に建設業組合と災害時における応急復旧に関する協定を締結している。	●	・H23年度に建設業組合と災害時における応急復旧に関する協定を締結している。	●					
		⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	・H28年度	・R7年度	6月の台風2号を受けて、被害箇所の把握、庁内で情報共有を図った。	●	上記の共同訓練の際、地元水防団に参加をいただき、情報共有を図っている。	●	上記の共同訓練の際、地元水防団に参加をいただき、情報共有を図っている。	●	・水防団等と点検を実施し、内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・H28年度	・R7年度					・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。	○	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。	○					
		⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	重要水防箇所の点検を実施	●	重要水防箇所の点検を実施	●	重要水防箇所の点検を実施	●	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度					・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	●	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	●					
		⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度					・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	●	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	●					
		⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・R6年度水防訓練では、水防団員に加え、一般の避難者にも参加を促していく。	△	・水防訓練では、水防団員に加え、一般の避難者にも参加を促していく。	△	・水防訓練では、水防団員に加え、一般の避難者にも参加を促していく。	△	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度					・実践的な水防訓練の検討、実施	●	・実践的な水防訓練の検討、実施	●					
		⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	△ 広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度					・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	●	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	●					
2. ソフト対策の主な取組 ③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																											
(1) 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																											
		①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	△ 排水ポンプの設置箇所を選定した排水計画(案)の作成	・H28年度	・R7年度					・計画策定までは至っていないが、災害時には、関係各課と連携して、水中ポンプの設置等の対応を行っている。	○	・計画策定までは至っていないが、災害時には、関係各課と連携して、水中ポンプの設置等の対応を行っている。	○					
		②排水訓練の実施	・計画に基づく排水訓練の実施を検討	・H29年度	・R7年度	・令和6年度排水ポンプ車操作訓練を実施予定	△	・排水ポンプ車操作訓練を実施予定	△	・排水ポンプ車操作訓練を実施	○	○ 防災訓練と合同で実施	・H30年度	・R7年度					実施に向けた取り組みを継続	△							
		③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	△ 排水ポンプの設置箇所を選定した排水計画(案)の作成	・H28年度	・R7年度					作成に向け内部検討中	○	作成に向け内部検討中	○					
		④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	△ 排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度					実施に向けた取り組みを継続	△							
		⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを検討していく	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	△ 作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度					実施に向けた取り組みを継続	△							

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	行方市										銚田市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
1. ハード対策の主な取組																						
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																						
		①優先的に実施する堤防整備																				
		②優先的に実施する波浪対策																				
		③危機管理型ハード対策																				
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
		①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																				
		②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の維持管理を徹底する ・防災対応型エリア放送の開始	・H28年度 ・R7年度		・防災行政無線、メルマガ、エリアテレビ等の情報伝達方法の利便性を向上。聞き逃し対策にフリーダイヤルの周知 ・経理エリアの改善	○	・防災行政無線、メルマガ、エリアテレビ等の情報伝達方法の利便性を向上。聞き逃し対策にフリーダイヤルの周知 ・経理エリアの改善	○	・防災行政無線のデジタル化	・H29年度 ・R4年度		・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布	●	・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布	●	・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布	●				
		③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・非常用電源車の検討 ・消防団の装備の基準改正に伴い資機材の拡充を図る	・H29年度 ・H29年度	R7年度	・計13台に1500W以上の給電機能 ・公用車13整備済 ・整備を拡充	●	・計13台に1500W以上の給電機能 ・公用車13整備済 ・整備を拡充	●	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	・H28年度 ・R7年度		・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、ライフジャケット(5枚)配布	●	・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、ライフジャケット(5枚)配布	●	・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、ライフジャケット(5枚)配布	●				
		④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・国や県が設置している既存の設備を活用する	H29年度	R7年度					・POTEKAの設置 ・国や県が設置している既存の設備を活用する	H29年度	R7年度	・超高密度気象観測POTEKAを市内4カ所に設置	●	・超高密度気象観測POTEKAを市内4カ所に設置	●	・超高密度気象観測POTEKAを市内4カ所に設置	●				
		⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・各庁舎は浸水想定区域外							・庁舎が浸水想定区域外であり対象なし												
		⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・資機材リース会社との災害応援協定による対応	・H28年度 ・R7年度	・R7年度	・台風接近時の溢水想定箇所に仮設排水ポンプ設置を継続	○	・台風接近時の溢水想定箇所に仮設排水ポンプ設置を継続	○	・既設排水ポンプの点検及び新規整備箇所の検討	・H28年度 ・R7年度		・内部危険箇所の点検を実施	○	・内部危険箇所の点検を実施	○	・内部危険箇所の点検を実施	○				
		⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度 ・R7年度	・R7年度	・取組を継続	△	・取組を継続	△	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度 ・R7年度		・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する	△	・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する	△	・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する	△				
		⑧河川防災ステーションの整備																				
		⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度 ・R7年度	・R7年度	・統合庁舎建設の検討・協議	△	・統合庁舎建設の検討・協議	△	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度 ・R7年度		・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討	△	・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討	△	・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討	△				
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																						
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
		①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																				
		②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																				
		③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)を検討する	・H29年度 R7年度	・R7年度	・広域避難は要しない	●	・広域避難は要しない	●	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	・H29年度 R7年度		市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●				
		④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H29年度 R7年度	・R7年度	・広域避難なしのハザードマップの改定を実施	●	・広域避難なしのハザードマップの改定を実施	●	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H29年度 R7年度		・ハザードマップを改訂した※広域避難はなし	●	・ハザードマップを改訂済。適宜修正。※広域避難はなし	●	・ハザードマップを改訂済。適宜修正。※広域避難はなし	●				
		⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度 R7年度	・R7年度	・取組を継続	△	・取組を継続	△	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度 R4年度		要配慮者利用施設周辺の電柱に想定浸水深の標識を設置	●	要配慮者利用施設周辺の電柱に想定浸水深の標識を設置	●	要配慮者利用施設周辺の電柱に想定浸水深の標識を設置	●				
		⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	・H29年度 R7年度	・R7年度	・避難計画は100%作成完了 ・継続的に訓練を支援(浸水想定区域内対象18施設)	●	・避難計画は100%作成完了 ・継続的に訓練を支援(浸水想定区域内対象18施設)	●	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、情報提供及び避難訓練等を支援する	・H29年度 R7年度		・避難確保計画は全施設策定済み(14施設) ・避難確保計画の随時改訂及び避難訓練報告書提出の徹底を図る	●	・避難確保計画は全施設策定済み(14施設) ・避難確保計画の随時改訂及び避難訓練報告書提出の徹底を図る	○	・避難確保計画は全施設策定済み(14施設) ・避難確保計画の随時改訂及び避難訓練報告書提出の徹底を図る	○				
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
		①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・策定済み	・H27年度 R7年度	・R7年度	・H27年度に完了。その後避難勧告等の伝達基準変更に伴う改訂等を実施。	●	・H27年度に完了。その後避難勧告等の伝達基準変更に伴う改訂等を実施。	●	・タイムラインの策定を行う	・H29年度 R7年度		作成済み。適宜修正。	●	作成済み。適宜修正。	●	作成済み。適宜修正。	●				
		②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 R7年度	・R7年度	・防災アプリ・デジタルマイタイムラインの周知	●	・防災アプリ・デジタルマイタイムラインの周知	●	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 R7年度		・浸水想定区域内の地区に対し、地区回覧にてマイタイムラインのチラシを配布 ・防災アプリの周知を図る	●	・浸水想定区域内の地区に対し、地区回覧にてマイタイムラインのチラシを配布 ・防災アプリの周知を図る	●	・浸水想定区域内の地区に対し、地区回覧にてマイタイムラインのチラシを配布 ・防災アプリの周知を図る	●				
		③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 R7年度	・R7年度	・自主防災組織役員・要配慮者利用施設職員を対象としたマイタイムライン作成講習会の実施。	●	・R6.7月に自主防災組織役員・要配慮者・消防団などを対象にマイタイムラインの講習会を実施。	●	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 R7年度		・浸水想定区域内の区長を参集し、マイタイムライン作成説明会を開催する	○	・防災訓練時にマイタイムライン作成支援を実施	○	・防災訓練時にマイタイムライン作成支援を実施	○				
		④タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	・H29年度 R7年度	・R7年度	・想定訓練を検討	○	・想定訓練を検討	○	・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	・H29年度 R7年度		・訓練内容等の検討 ※令和6年度実施予定	○	・訓練内容等の検討	○	・訓練内容等の検討	○				
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																				
		⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																				
(3) 防災教育や防災知識の普及																						
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を検討	・H28年度 R7年度	・R7年度	・建設部や関係各課と連絡を執って窓口を設置 ・HPの拡充(関係機関の情報をリンク)	●	・建設部や関係各課と連絡を執って窓口を設置 ・HPの拡充(関係機関の情報をリンク)	●	・問い合わせ窓口を設置する	・H28年度 R7年度		・危機管理課を窓口とした。	●	・危機管理課を窓口とした。	●	・危機管理課を窓口とした。	●				
		②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討	・H28年度 R7年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを検討	○	・実施に向けた取り組みを検討	○	・実施について検討する	・H28年度 R7年度		・実施に向けた取り組みを継続(H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対象に個別訪問を行い、防災に関する取組み内容の説明を実施	△	・実施に向けた取り組みを継続(H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対象に個別訪問を行い、防災に関する取組み内容の説明を実施	△	・実施に向けた取り組みを継続(H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対象に個別訪問を行い、防災に関する取組み内容の説明を実施	△				
		③教員を対象とした講習会の実施	・講習会等を検討	・H29年度 R7年度	・R7年度	・講習会を検討	○	・講習会を検討	○	・実施について検討する	・H29年度 R7年度		・教員等へ講習会を検討	○	・教員等へ講習会を検討	○	・教員等へ講習会を検討	○				
		④小学生を対象とした防災教育の実施	・実施について検討	・H29年度 R7年度	・R7年度	・学校単位の防災訓練を継続実施	○	・11/19北浦小4年生を対象に防災教室の実施。	○	・実施について検討する	・H29年度 R7年度		・茨城県防災・危機管理課職員によるマイタイムライン講習会を市小学校にて実施する	○	・小学生を対象とした防災体験学習を実施する	○	・小学生を対象とした防災訓練を実施する	○				
		⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度 R7年度	・R7年度					・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度 R7年度		・茨城県のVRゴーグルを活用した疑似災害体験を市内小学校にて実施する	○	・市総合防災訓練においてマイタイムライン作成講習会やVRゴーグルを活用した疑似災害体験を実施する	○	・市総合防災訓練においてマイタイムライン作成講習会やVRゴーグルを活用した疑似災害体験を実施する	○				
		⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・情報入手方法などの周知	・H28年度 R7年度	・R7年度	・市報やチラシで実施	●	・市報やチラシで実施	●	・情報入手方法などの周知	・H29年度 R7年度		・緊急速報メールを活用	●	・緊急速報メールを活用	●	・緊急速報メールを活用	●				
		⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・市HPの防災情報内で河川事務所、川の防災情報等のリンクを作成	・H28年度 R7年度	・R7年度	・川の防災情報等のリンクを作成	●	・川の防災情報等のリンクを作成	●	・関係機関のリンクを貼るなど、ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する	・H29年度 R7年度		・川の防災情報等のリンクを作成	●	・川の防災情報等のリンクを作成	●	・川の防災情報等のリンクを作成	●				
		⑧許可工物管理者への防災教育の実施	・実施について検討	・H29年度 R7年度	・R7年度	・河川管理者(国交省)との共同点検等を利用し実施を検討	○	・河川管理者(国交省)との共同点検等を利用し実施を検討	○	・国、県と連携し支援をする	・H28年度 R7年度		・実施方法等について内部検討	○	・実施方法等について内部検討	○	・実施方法等について内部検討	○				

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	行方市										銚田市									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																						
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																						
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでも伝達訓練を実施している	・H28年度	・R7年度	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	○	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	○	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	○	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施する	○	・H29年度	・R7年度	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実施 ・消防団が兼務しており、分団長とは日常からメール配信を実施	○	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実施 ・消防団が兼務しており、分団長とは日常からメール配信を実施	○	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実施 ・消防団が兼務しており、分団長とは日常からメール配信を実施	○		
	②水防団同士の連絡体制の確保	・双方向通信機を配備し、マニュアル作成済み	・H28年度	R7年度	・簡易無線機を各部に配備し、要領を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の整備	●	・簡易無線機を各部に配備し、要領を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の整備	●	・簡易無線機を各部に配備し、要領を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の整備	●	・連絡体制を確保する	●	・H28年度	R7年度	・デジタル簡易無線機を配備	●	・デジタル簡易無線機を配備	●	・デジタル簡易無線機を配備	●		
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加。【H28年度～】	・H28年度	R7年度	・水防訓練のほか、出水期前に水防重点箇所の共同点検において、行政区民、消防団員が参加(今年度は新型コロナウイルス感染症対策によりなし。)	●	・水防訓練のほか、出水期前に水防重点箇所の共同点検において、行政区民、消防団員が参加(今年度は新型コロナウイルス感染症対策によりなし。)	●	・水防訓練のほか、出水期前に水防重点箇所の共同点検において、行政区民、消防団員が参加(今年度は新型コロナウイルス感染症対策によりなし。)	●	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	●	・H28年度	・R7年度	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●		
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系連合水防演習に参加する ・水防訓練の実施	・H29年度 ・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練を実施	△ ○	・実施に向けた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練を実施	△ ○	・実施に向けた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練を実施	△ ○	・利根川水系連合水防演習に参加する	△	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△		
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・募集を検討	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・広報誌やHPなどによる募集	○	・実施に向けた取り組みを継続 ・広報誌やHPなどによる募集	○	・実施に向けた取り組みを継続 ・広報誌やHPなどによる募集	○	・広報誌やホームページ等で募集していく	○	・H29年度	・R7年度	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○		
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討	・H28年度	R7年度	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携済み	●	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携済み	●	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携済み	●	・災害協定締結済み	●	・H19年度	R7年度	・災害協定締結済み	●	・災害協定締結済み	●	・災害協定締結済み	●		
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・消防団と情報共有、点検を行う	・H28年度	・R7年度	・台風まえに消防団等と点検を実施	○	・台風まえに消防団等と点検を実施	○	・台風まえに消防団等と点検を実施	○	・水防団等と情報共有、点検に努める	○	・H28年度	R7年度	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●	・河川事務所が実施する共同点検に地元区長及び消防団が参加	●		
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・水防資機材の配備・更新を実施する。	○	・水防資機材の配備・更新を実施する。	○	・水防資機材の配備・更新を実施する。	○	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	○	・R3年度	・R7年度	・新庁舎建設に併せ、水防資機材を集約できる倉庫建設を検討 ・先進事例を参考に水防資機材の配備を検討する	△	・新庁舎建設に併せ、水防資機材を集約できる倉庫建設を検討 ・先進事例を参考に水防資機材の配備を検討する	△	・関係機関とともに重要水防箇所	○		
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、目玉防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・広報誌やHPなどによる消防団員の募集	○	・広報誌やHPなどによる消防団員の募集	○	・広報誌やHPなどによる消防団員の募集	○	・水防団員の募集、目玉防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	○	・R3年度	・R7年度	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○	・広報誌やホームページ等で募集 ・消防団員による勧誘	○		
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・消防団で実施している水防訓練の内容検討	△	・消防団で実施している水防訓練の内容検討	△	・消防団で実施している水防訓練の内容検討	△	・実践的な水防訓練の検討、実施	△	・R3年度	・R7年度	・訓練方法等の内部検討	△	・訓練方法等の内部検討	△	・訓練方法等の内部検討	△		
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・実施内容の検討	△	・実施内容の検討	△	・実施内容の検討	△	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	△	・R3年度	・R7年度	・他機関で実施される訓練、講習会等に参加し、連携強化を図る ・他機関等が所有する特殊車両を用いた支援体制の明確化及び強化を図る	○	・他機関で実施される訓練、講習会等に参加し、連携強化を図る ・他機関等が所有する特殊車両を用いた支援体制の明確化及び強化を図る	○	・他機関で実施される訓練、講習会等に参加し、連携強化を図る ・他機関等が所有する特殊車両を用いた支援体制の明確化及び強化を図る	○		
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																						
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																						
	①排水機・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排水ポンプ設置箇所の選定までを行った排水計画(案)を作成	・H28年度	・R7年度	・建設部や消防団と協議し、排水ポンプ設置箇所を選定済み。排水計画(案)の作成に向けた検討を実施	○	・建設部や消防団と協議し、排水ポンプ設置箇所を選定済み。排水計画(案)の作成に向けた検討を実施	○	・建設部や消防団と協議し、排水ポンプ設置箇所を選定済み。排水計画(案)の作成に向けた検討を実施	○	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)を作成する	○	・H29年度	・R7年度	・機場管理者との情報共有、排水計画の検討	○	・機場管理者との情報共有、排水計画の検討	○	・機場管理者との情報共有、排水計画の検討	○		
	②排水訓練の実施	・防災訓練等で実施	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・防災訓練と合同で実施する	△	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△		
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排水ポンプ設置箇所の選定までを行った排水計画(案)を作成	・H28年度	・R7年度	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	○	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	○	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	○	・排水ポンプ等の設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の作成	○	・H29年度	・R7年度	・排水計画(案)について内部検討	○	・排水計画(案)について内部検討	○	・排水計画(案)について内部検討	○		
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・排水設備の耐水化	△	・R3年度	・R7年度	・段階的な耐水化対策を検討する	△	・段階的な耐水化対策を検討する	△	・段階的な耐水化対策を検討する	△		
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・作成に必要な情報の提供	△	・R3年度	・R7年度	・必要な情報の整理	△	・必要な情報の整理	△	・必要な情報の整理	△		

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	小美玉市								美浦村									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																				
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																				
		①優先的に実施する堤防整備																		
		②優先的に実施する波浪対策																		
		③危機管理型ハード対策																		
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																		
		②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災行政無線のデジタル放送への移行 ・戸別受信機全戸配布済み	・H29年度 ・H28年度	・R7年度	・機器のデジタル対応完了 ・転入者への設置	● ○	・機器のデジタル対応完了 ・転入者への設置	● ○	・機器のデジタル対応完了 ・転入者への設置	● ○	・H30年度以降を目標に防災行政無線(同報系)の設置を検討している	・H30年度 ・R7年度	防災行政無線の更新を行った	●	防災行政無線の管理運用	●	防災行政無線の管理運用	●	
		③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・資機材の充実の検討	・H28年度	・R7年度	・消防団にライフジャケットを配備(H28)	○	・消防団にライフジャケットを配備(H28)	○	・消防団にライフジャケットを配備(H28)	○	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を検討する	・H28年度 R7年度	・水防団資機材の管理運用	●	・水防団資機材の管理運用	●	・水防団資機材の管理運用	●	
		④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・カメラを設置する	・H29年度	・R7年度	・国や県が設置している既存の設備を活用する	●	・国や県が設置している既存の設備を活用する	●	・国や県が設置している既存の設備を活用する	●	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域に監視カメラを設置する	・H28年度 R7年度	・監視カメラの管理運用	●	・監視カメラの管理運用	●	・監視カメラの管理運用	●	
		⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外のため対象無し									・庁舎が浸水想定区域外								
		⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・県警と協力しマップ作成中	・H28年度	・R7年度	・災害協定に基づき、内水氾濫時に必要に応じ排水ポンプの提供を依頼する。	●	・災害協定に基づき、内水氾濫時に必要に応じ排水ポンプの提供を依頼する。	●	・災害協定に基づき、内水氾濫時に必要に応じ排水ポンプの提供を依頼する。	●	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域の対策を検討	・H28年度 R7年度	・設置済みの土のうステーションの点検及び交換を実施	●	・設置済みの土のうステーションの点検及び交換を実施	●	・設置済みの土のうステーションの点検及び交換を実施	●	
		⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度	・R7年度	・市役所庁舎の雨水排水整備対応済	●	・市役所庁舎の雨水排水整備対応済	●	・市役所庁舎の雨水排水整備対応済	●	・重要施設の雨水排水整備の実施	・R3年度 ・R7年度	・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継続	△	・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継続	△	・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継続	△	
		⑧河川防災ステーションの整備																		
		⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度	・R7年度	・自家発電設備、無線設備及び衛星電話整備済	●	・自家発電設備、無線設備及び衛星電話整備済	●	・自家発電設備、無線設備及び衛星電話整備済	●	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等	・R3年度 ・R7年度	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等に向けた取り組みを継続	△	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等に向けた取り組みを継続	△	・防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等に向けた取り組みを継続	△	
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
		①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																		
		②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																		
		③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	・H28年度	・R7年度	・市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●	・市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●	・市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	●	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	・H28年度 ・R7年度	・稲敷広域消防本部管内市町村広域避難計画(個別計画)の策定に向け内部検討	○	・稲敷広域消防本部管内市町村広域避難計画(個別計画)の策定に向け内部検討	○	・稲敷広域消防本部管内市町村広域避難計画(個別計画)の策定に向け内部検討	○	
		④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H28年度	・R7年度	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における洪水を対象に、洪水ハザードマップの策定した(広域避難は考慮しない)	●	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における洪水を対象に、洪水ハザードマップの策定した(広域避難は考慮しない)	●	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における洪水を対象に、洪水ハザードマップの策定した(広域避難は考慮しない)	●	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する	・H30年度 ・R7年度	・策定に向けて内部検討	○	・策定に向けて内部検討	○	・策定に向けて内部検討	○	
		⑤まるとまごちハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う。	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う。	・H30年度 ・R7年度	・設置に向けて内部検討	○	・設置に向けて内部検討	○	・設置に向けて内部検討	○	
		⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、情報提供及び避難訓練等を支援する。[H29年度~]	・H29年度	・R7年度	・水害ハザードマップ内の要配慮者施設の避難計画作成済 ・避難訓練等の実施支援	●	・水害ハザードマップ内の要配慮者施設の避難計画作成済 ・避難訓練等の実施支援	●	・水害ハザードマップ内の要配慮者施設の避難計画作成済 ・避難訓練等の実施支援	●	・要配慮者利用施設が浸水想定区域外。								
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																				
		①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	・H29年度	・R7年度	・タイムラインを策定	●	・タイムラインを策定	●	・タイムラインを策定	●	・タイムラインの策定を行う	・H28年度 ・R7年度	・策定に向けて内部検討	○	・策定に向けて内部検討	○	・策定に向けて内部検討	○	
		②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度	・R7年度	・広報誌にマイ・タイムラインの広告を掲載した。	●	・広報誌にマイ・タイムラインの広告を掲載した。	●	・広報誌にマイ・タイムラインの広告を掲載した。	●	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 ・R7年度	村のホームページや広報紙にマイ・タイムラインに関する情報を掲載	●	マイ・タイムラインの全戸配布を実施	●	マイ・タイムラインの全戸配布を実施	●	
		③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R4年度	・R7年度	・小学校における防災講習内にて実施	●	・洪水ハザード地区を対象とした避難訓練内にて実施	●	・洪水ハザード地区を対象とした避難訓練内にて実施	●	・マイ・タイムラインの作成の促進	・R3年度 ・R7年度	・実施方法について内部検討	○	浸水想定避難訓練時に実施	●	浸水想定避難訓練時に実施	●	
		④タイムラインに基づく実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	・H29年度	・R7年度	・訓練方法について内部検討	○	・訓練方法について内部検討	○	・訓練方法について内部検討	○	・ロールプレイング等の実践的な訓練の検討	・H28年度 ・R7年度	・訓練方法について内部検討	○	避難訓練等での実施を検討中	○	避難訓練等での実施を検討中	○	
		⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																		
		⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																		
(3) 防災教育や防災知識の普及																				
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置について検討する	・H28年度	・R7年度	・窓口を一本化している	●	・窓口を一本化している	●	・窓口を一本化している	●	・設置について検討する	・H29年度 ・R7年度	・窓口を一本化している	●	・窓口を一本化している	●	・窓口を一本化している	●	
		②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・水防訓練を五月に実施	・H28年度	・R7年度	・浸水想定域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・浸水想定域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・浸水想定域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・実施について検討する	・H28年度 ・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
		③教員を対象とした講習会の実施	・毎年実施する総合防災訓練時に教育施設を避難場所に指定し、実施を検討	・H28年度	・R7年度	・教育委員会と実施について検討する	○	・教育委員会と実施について検討する	○	・教育委員会と実施について検討する	○	・小中学校が浸水想定区域外								
		④小学生を対象とした防災教育の実施	・毎年実施する総合防災訓練時に教育施設を避難場所に指定し、実施を検討	・H28年度	・R7年度	・防災備蓄啓発のためのチラシを配布した。 ・小小学の一部において防災講習を実施	●	・防災備蓄啓発のためのチラシを配布した。 ・小小学の一部において防災講習を実施	●	・防災備蓄啓発のためのチラシを配布した。 ・小小学の一部において防災講習を実施	●	・実施について検討する	・H29年度 R7年度	村内小学校にて防災学習を実施	○	村内小学校にて防災授業を実施	●	村内小学校にて防災授業を実施	●	
		⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	・H28年度	・R7年度	・実施について内部で検討した。	●	・実施について内部で検討した。	●	・実施について内部で検討した。	●	・出前講座等を活用した講習会の実施	・H28年度 ・R7年度	・講習会実施に向けて内部検討	○	・講習会実施に向けて内部検討	○	・講習会実施に向けて内部検討	○	
		⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・検討中	・H28年度	・R7年度	・防災行政無線、エリアメールのほかにヤフー株式会社と災害協定を締結し、プッシュ型情報発信の強化を図った	●	・防災行政無線、エリアメールのほかにヤフー株式会社と災害協定を締結し、プッシュ型情報発信の強化を図った	●	・防災行政無線、エリアメールのほかにヤフー株式会社と災害協定を締結し、プッシュ型情報発信の強化を図った	●	・情報入手方法などの周知を検討する	・H28年度 ・R7年度	・防災行政無線、防災メール、ツイッター、ホームページ等による情報発信	●	・防災行政無線、防災メール、各種SNS、ホームページ等による情報発信	●	・防災行政無線、防災メール、各種SNS、ホームページ等による情報発信	●	
		⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・関係機関などのリンクをホームページに記載する	・H28年度	・R7年度	・川の防災情報・水位情報等へのリンクを作成	●	・川の防災情報・水位情報等へのリンクを作成	●	・川の防災情報・水位情報等へのリンクを作成	●	・川の防災Webにて、川の防災情報等のリンクを付し、情報提供を行った	・H28年度 R7年度	・川の防災Webにて、川の防災情報等のリンクを付し、情報提供を行った	●	・川の防災Webにて、川の防災情報等のリンクを付し、情報提供を行った	●	・川の防災Webにて、川の防災情報等のリンクを付し、情報提供を行った	●	
		⑧許可工物管理者への防災教育の実施	・検討する	・H28年度	・R7年度	・実施内容について内部検討	○	・実施内容について内部検討	○	・実施内容について内部検討	○	・検討する	・H29年度 ・R7年度	・実施方法等について内部検討	○	・実施方法等について内部検討	○	・実施方法等について内部検討	○	

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	小美玉市							美浦村										
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
				着手	完了								着手	完了						
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																				
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																				
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練時に実施	・H28年度	・R7年度	・連絡体制の再確認を実施	○	・連絡体制の再確認を実施	○	・連絡体制の再確認を実施	○	・既に、村の防災訓練に併せ伝達訓練を実施している	・H28年度	・R7年度	・村の防災訓練に併せ伝達訓練を実施した	●	・浸水想定避難訓練に合わせて伝達・通信訓練を実施	●	・浸水想定避難訓練に合わせて伝達・通信訓練を実施	●	
	②水防団同士の連絡体制の確保	・検討する	・H28年度	・R7年度	・水防団が水防団を兼務しており、連絡体制は確保されている ・消防団車両に無線機を配備	●	・水防団が水防団を兼務しており、連絡体制は確保されている ・消防団車両に無線機を配備	●	・水防団が水防団を兼務しており、連絡体制は確保されている ・消防団車両に無線機を配備	●	・連絡体制確保の検討	・H28年度	・R7年度	・消防車両に無線機及び小型無線機を配備	●	・消防車両に無線機及び小型無線機を配備	●	・消防車両に無線機及び小型無線機を配備	●	
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する共同点検に消防団等とともに参加	・H28年度	・R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	・R7年度	・河川事務所が実施する共同点検に参加	○	・河川事務所が実施する共同点検に参加	●	・河川事務所が実施する共同点検に参加	●	
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防訓練を5月に実施	・H28年度	・R7年度	・消防、消防団と共同で実施した。	●	・消防、消防団と共同で実施した。	●	・消防、消防団と共同で実施した。	●	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	・H28年度	・R7年度	・稲敷市、阿見町、美浦村の3市町村で合同の水防訓練を実施	●	・稲敷市、阿見町、美浦村の3市町村で合同の水防訓練を実施	●	・稲敷市、阿見町、美浦村の4市町村で合同の水防訓練を実施	●	
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・自主防災組織の活動促進	・H28年度	・R7年度	・広報誌やホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・ホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・ホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・広報誌やホームページ等で募集を検討する	・H29年度	・R7年度	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を実施し、団員を募集	○	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を実施し、団員を募集	○	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を実施し、団員を募集	○	
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・検討する	・H28年度	・R7年度	・建設業協会と災害協定を締結している	●	・建設業協会と災害協定を締結している	●	・建設業協会と災害協定を締結している	●	・実施を検討する	・H29年度	・R7年度	・実施に向けた内部検討	○	・実施に向けた内部検討	○	・実施に向けた内部検討	○	
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検に努める	・H28年度	・R7年度	・浸水想定区域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・浸水想定区域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・浸水想定区域のある行政区の区長と水位警報装置の点検を実施した。	●	・水防団等と情報共有及び点検等の検討	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	○	・実施に向けた取り組みを継続	○	・実施に向けた取り組みを継続	○	
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・消防、消防団と自主点検を実施した。	●	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、目玉防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・広報誌やホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・ホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・ホームページで水防団を兼務する消防団員の募集を行った	●	・水防団員の募集、目玉防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実施内容について内部検討中	○	・実施内容について内部検討中	○	・実施内容について内部検討中	○	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・実施内容について内部検討中	○	・実施内容について内部検討中	○	・実施内容について内部検討中	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	・実施に向けて内部検討	○	
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																				
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																				
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・関係機関との排水施設の情報共有	・H28年度	・R7年度	・排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。	○	・排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。	○	・排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。	○	・排水施設等が無いが、検討する	・H30年度	・R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	
	②排水訓練の実施	・防災訓練での実施を検討	・H28年度	・R7年度	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・実施に向けた取組を継続	△	・村の防災訓練と合同で実施するよう検討する	・H30年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・検討する	・H28年度	・R7年度	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・計画策定を検討中	○	・検討する	・H30年度	・R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	・計画作成に向けた取り組みを継続	△	
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・検討中	○	・検討中	○	・検討中	○	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・検討中	○	・検討中	○	・検討中	○	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	・実施に向けた取り組みを継続	△	

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	阿見町										河内町									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
1. ハード対策の主な取組																						
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																						
①優先的に実施する堤防整備																						
②優先的に実施する波浪対策																						
③危機管理型ハード対策																						
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																						
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																						
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備																						
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																						
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化																						
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																						
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施																						
⑧河川防災ステーションの整備																						
⑨庁舎等の防災拠点の強化																						
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																						
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																						
②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																						
③広域避難計画の策定																						
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																						
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進																						
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成																						
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																						
④タイムラインに基づく実践的な訓練																						
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																						
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																						
(3) 防災教育や防災知識の普及																						
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置																						
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施																						
③教員を対象とした講習会の実施																						
④小学生を対象とした防災教育の実施																						
⑤出前講座等を活用した講習会の実施																						
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信																						
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供																						
⑧許可工作者管理者への防災教育の実施																						

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	阿見町										河内町									
			実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
				着手	完了								着手	完了								
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																						
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																						
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防団の連絡体制の確認を行う	・H28年度	・R7年度	・水防団の連絡体制の確認を行う(水防団=消防団のため、分団長メンバーリスト、グループLINEで情報共有)	●	・水防団の連絡体制の確認を行う(水防団=消防団のため、分団長メンバーリスト、グループLINEで情報共有)	●	・水防団の連絡体制の確認を行う(水防団=消防団のため、分団長メンバーリスト、グループLINEで情報共有)	●	・伝達訓練の実施	・H28年度	R2年度	・総合防災訓練(広域避難)を実施し無線による伝達・水防活動後の広域避難を訓練した。	●	・総合防災訓練(広域避難)を実施し無線による伝達・水防活動後の広域避難を訓練した。	●	今年度は取り組みなし	●			
	②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H28年度	・R7年度	・連絡体制を確保する	○	・連絡体制を確保する	○	・連絡体制を確保する	○	・連絡体制は確保済	・H28年度	R2年度	・無線機による隊の統制。	●	・無線機による隊の統制。	●	今年度は取り組みなし	●			
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	・R7年度	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	●	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	●	・河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する	●	・共同点検への参加	・H28年度	R2年度	・利根川下流管内での共同点検に参加	●	・利根川下流管内での共同点検に参加	●	・利根川下流管内での共同点検に参加	●			
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	・H28年度	・R7年度	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	●	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	●	・既に美浦村、稲敷市、阿見町4市町村で合同の水防訓練を実施している	●	・実施について検討する。	・H28年度	R2年度	・総合防災訓練、利根川の洪水対応訓練(広域避難)を実施した。	●	・総合防災訓練、利根川の洪水対応訓練(広域避難)を実施した。	●	・総合防災訓練、利根川の洪水対応訓練(広域避難)を実施した。	●			
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP等で実施している	・H28年度	・R7年度	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP等で実施している	●	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP等で実施している	●	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP等で実施している	●	・募集・指定の促進について検討する	・H31年度	R2年度	・ポスターの掲示及び地区ごとの呼びかけを実施している	●	・ポスターの掲示及び地区ごとの呼びかけを実施している	●	・ポスターの掲示及び地区ごとの呼びかけを実施している	●			
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・建設業組合等との災害協定締結	・H19年度 ・H22年度	R7年度	・建設業組合等との災害協定締結	●	・建設業組合等との災害協定締結	●	・建設業組合等との災害協定締結	●	・水防支援体制について検討する。	・H31年度	・R7年度	・内部検討中	○	・町建設業者と災害協定を締結し支援体制を確立している	●	・町建設業者と災害協定を締結し支援体制を確立している	●			
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報を共有し点検を行う	・H29年度	・R7年度	特になし	×	特になし	×	特になし	×		H28年度	・R7年度	・危険箇所の巡回、排水溝の状況調査	○	・危険箇所の巡回、排水溝の状況調査	○	・危険箇所の巡回、排水溝の状況調査	○			
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	△	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	△	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	△	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	・水防箇所の点検を実施。品年度未実施。	○	・水防箇所の点検を実施。品年度未実施。	○	・水防箇所の点検を実施。品年度未実施。	○			
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	○	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	○	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	○	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・毎年募集している	○	・毎年募集している	○	・毎年募集している	○			
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・実践的な水防訓練の検討、実施	●	・実践的な水防訓練の検討、実施	●	・実践的な水防訓練の検討、実施	●	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	・総合防災訓練時、水防団は土のう積み訓練を実施。	○	・総合防災訓練時、水防団は土のう積み訓練を実施。	○	今年度は取り組みなし	●			
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	○	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	特になし	×	特になし	×	特になし	×			
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																						
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																						
	①排水機・雑門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	・H29年度	・R7年度	・関係機関と情報を共有して検討していく	△	・関係機関と情報を共有して検討していく	△	・関係機関と情報を共有して検討していく	△		H28年度	・R7年度	未実施	×	未実施	×	未実施	×			
	②排水訓練の実施	・水防訓練時での実施を検討していく	・H29年度	・R7年度	・水防訓練時での実施を検討していく	△	・水防訓練時での実施を検討していく	△	・水防訓練時での実施を検討していく	△		H28年度	・R7年度	未実施	×	未実施	×	未実施	×			
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	・H29年度	・R7年度	・関係機関と情報を共有して検討していく	△	・関係機関と情報を共有して検討していく	△	・関係機関と情報を共有して検討していく	△		H28年度	・R7年度	未実施	×	未実施	×	未実施	×			
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	・排水設備の耐水化	△	・排水設備の耐水化	△	・排水設備の耐水化	△	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	未実施	×	未実施	×	未実施	×			
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	・作成に必要な情報の提供	△	・作成に必要な情報の提供	△	・作成に必要な情報の提供	△	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	未実施	×	未実施	×	未実施	×			

○ R7取り組み状況について(個票)

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目	事項	内容 赤着色:前年度からの変化	利根町										香取市									
			実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容		実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
			着手	完了	着手	完了							着手	完了								
1. ハード対策の主な取組																						
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																						
①優先的に実施する堤防整備																						
②優先的に実施する波浪対策																						
③危機管理型ハード対策																						
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																						
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																						
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備																						
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																						
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化																						
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																						
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施																						
⑧河川防災ステーションの整備																						
⑨庁舎等の防災拠点の強化																						
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																						
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																						
②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																						
③広域避難計画の策定																						
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																						
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																						
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進																						
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																						
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成																						
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																						
④タイムラインに基づく実践的な訓練																						
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																						
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																						
(3) 防災教育や防災知識の普及																						
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置																						
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施																						
③教員を対象とした講習会の実施																						
④小学生を対象とした防災教育の実施																						
⑤出前講座等を活用した講習会の実施																						
⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信																						
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供																						
⑧許可工物管理者への防災教育の実施																						

項目	事項	利根町										香取市									
		実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況		
			着手	完了								着手	完了								
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																					
(1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																					
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防団への連絡体制の確保	・H28年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	②水防団同士の連絡体制の確保	・水防組合による会議・訓練により連絡体制を確保している	・H28年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・利根川区間の共同点検を実施している	・H28年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防組合による水防訓練に参加	・H28年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・促進について検討する	・H29年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	・H18年度	H18年度																	
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・把握および情報共有を行う	・H29年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・堤防の共同点検を実施。	・R3年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報の検討、実施	・R3年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	・R3年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	・R3年度	・R7年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																					
(1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																					
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	H28年度	・R7年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	H28年度	・R7年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	H28年度	・R7年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	・R3年度	・R7年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	・R3年度	・R7年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		

項目	事項 内容 赤着色:前年度からの変化	稲敷地方広域市町村事務組合										日本貨物鉄道(株)					鹿島臨海鉄道(株)											
		実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	R7年度実績	実施状況
			着手	完了								着手	完了								着手	完了						
1. ハード対策の主な取組																												
(1) 洪水を河川内で安全に流す対策																												
①優先的に実施する堤防整備																												
②優先的に実施する波浪対策																												
③危機管理型ハード対策																												
(2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																												
①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																												
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																												
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備																												
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																												
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化																												
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																												
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施																												
⑧河川防災ステーションの整備																												
⑨庁舎等の防災拠点の強化																												
2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組																												
(1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																												
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																												
②想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表																												
③広域避難計画の策定																												
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																												
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																												
⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進																												
(2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																												
①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																												
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成																												
③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																												
④タイムラインに基づく実践的な訓練																												
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																												
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																												
(3) 防災教育や防災知識の普及																												
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置																												
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施																												
③教員を対象とした講習会の実施																												
④小学生を対象とした防災教育の実施																												
⑤出前講座等を活用した講習会の実施																												
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信																												
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供																												
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施																												
2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																												
(1) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																												
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																												
②水防団同士の連絡体制の確保																												
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検																												
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施																												
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進																												
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築																												
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有																												
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認																												
⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)																												
⑩水防訓練の充実																												
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討																												
(2) 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																												
①排水機場、樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成																												
②排水訓練の実施																												
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成																												
④排水設備の耐水化																												
⑤排水準備計画の作成																												